

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務課] P. 371

2201 通学送迎に要する経費 17,412,841 円 (4,127,038 円)

[一財 17,412,841 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童・生徒が安全に通学できる手段を確保する。

○ 内容

通学送迎委託料 15,170,980 円

・ 取手小学校・取手第一中学校（小堀地区）	4,312,000 円
・ 取手東小学校（小文間地区）	7,920,000 円
・ 永山小学校（市之代・貝塚地区）	2,204,400 円
・ 桜が丘小学校（大留地区）	734,580 円

○ 効果

対象児童・生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務課・保健給食課] P. 371

2301 教育情報機器整備に要する経費 166,915,481 円 (206,436,348 円)

[国・県 2,027,000 円 その他 7,256,000 円 一財 157,632,481 円]

* 特財内訳

[国補：公立学校情報機器整備費補助金 1,980,000 円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 47,000 円]

[寄附金：教育費寄附金 1,558,000 円]

[諸収入：学校等欠席者感染症情報システム連携業務委託金 5,698,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

（公財）日本学校保健会が運営する、学校等欠席者・感染症情報システムと学校が運用している校務支援システムのデータを連携させることで、多忙をきわめる学校現場のシステム入力に係る負担を減らし、感染症のまん延防止と子どもの学習機会の保障に資する。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

また、GIGA スクール構想を推進するため、インターネット環境がない家庭が通信環境整備をする際に必要となる初期費用を一部支給する補助事業や、貸出し用モバイル Wi-Fi ルーター購入を行った。

・ オンライン授業用 web カメラの購入	1,568,160 円
・ ICT 活用教育支援スタッフ業務委託料	25,846,700 円

・教育センターシステムクラウド運用管理委託料	9,020,000 円
・学校等欠席者感染症情報システム連携業務委託料	5,698,000 円
・教育センターシステムクラウド使用料	36,695,775 円
・教育・校務用パソコン使用料	7,750,080 円
・校務支援システム使用料	8,751,600 円
・教職員用パソコン使用料	42,742,080 円
・モバイル Wi-Fi ルーターの購入	1,980,000 円
・家庭学習用インターネット環境整備補助金	67,033 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化と個人情報保護が図られた。また、通信環境整備によるオンライン学習の促進や、オンライン授業用 web カメラ購入により、ICT 機器を利用したオンライン教育をより一層推進した。

学校等欠席者・感染症情報システムと校務支援システムのデータを連携したことで、学校現場でのシステム入力負担が減り、養護教諭等の業務負担軽減を図ることができた。

[担当：学務課] P.373

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 12,263,585 円

[国・県 12,263,000 円 一財 585 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 12,263,000 円]

○ 目的

オンライン会議やオンライン授業により新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る。

○ 内容

教育委員会や市立小中学校においてオンライン会議を行うため、ノートパソコンの購入とネットワーク設定委託を行った。さらに、取手市役所藤代庁舎と教育総合支援センターにおいてオンライン会議促進のため、執務室や会議室へ無線アクセスポイントの設置・ネットワーク設定業務委託を行った。

また、オンライン授業において、教科書や音源等の著作物の配信利用を行うため、授業目的公衆送信補償金制度を利用した。

・教職員用パソコンの購入	8,668,000 円
・教育センターシステムクラウド運用管理委託料	858,000 円
・教育用ネットワーク機器設定委託料	2,159,476 円
・著作権使用料	578,109 円

○ 効果

オンライン会議の活用により、感染症拡大の防止や教育委員会と小中学校の事務の効率化が図られた。また、オンライン授業では著作物の配信が可能となり、効果的なオンライン教育を実施できた。

[担当：指導課] P.373

3101 いじめ防止対策に要する経費 12,260,273円 (11,823,270円)

[一財 12,260,273円]

○ 目的

市立小中学校と教育委員会が一体となり、全員担任制（小学校はチーム指導）や教育相談部会システムを推進していくために、専門的な立場から講演会などを実施し、より効果的に進めていく。また、学級集団アセスメント調査による学級運営状況の客観的な把握や、いじめ防止アプリの活用など、子どもからの相談に迅速に対応する体制をつくる。

○ 内容

- ・教育資質・能力向上研修講師謝礼 50,000円
- ・学級集団アセスメントアンケート用紙購入 2,341,860円
- ・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料 9,126,050円
- ・いじめ防止アプリ使用料 720,060円

○ 効果

子どもの命を守る、子どもが育つ学校づくりをテーマに教職員一斉研修会を開催し、教職員の資質向上を図ることができた。

各学校では教育相談部会が定期的に開催され、児童生徒の小さな変化を学校で共有し、学校連携支援員やスクールカウンセラー・スーパーバイザーの助言を得て対応を協議する教育相談部会システムが円滑に運用できた。また、いじめ防止アプリを通じて相談のきっかけをつくり、いじめ防止及び発見の手立てとすることに貢献した。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P.373

2101 奨学生貸付金 2,280,000円 (3,000,000円)

[その他 2,280,000円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 2,280,000円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学：月額30,000円、私立大学：月額40,000円

貸付者数

種別	令和3年度 (内 新規貸付)	令和2年度 (内 新規貸付)	令和元年度 (内 新規貸付)
国公立大学	1名	3名	3名
私立大学	4名 (2)	4名 (1)	4名 (1)
合計	5名 (2)	7名 (1)	7名 (1)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 375

0501 教育振興に要する経費 64,736,300 円 (98,037,589 円)

[国・県 2,138,420 円 一財 62,597,880 円]

* 特財内訳

[国委：学校図書館の振興に向けた調査研究委託事業委託金 291,520 円]

[県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,846,900 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の大きな社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。そこで、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業などの実践を行う。

また、読書のすばらしさを広めていくため、たった一冊でも心から誰かにすすめたくなるような魅力的な本との出会いをした児童生徒にスポットをあて、賞賛し、市全体に本の魅力を広めていく。

○ 内容

- ・ 英語指導助手業務委託料 60,984,000 円
英語指導助手 (ALT) 14 人 (中学校 6 人・小学校 8 人配置) を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実を図った。
- ・ 地域人材活用事業講師謝礼 224,000 円
- ・ 理科教育用教材購入 1,846,900 円
- ・ みんなにすすめたい一冊推進事業 291,520 円

○ 効果

学習指導要領改訂に伴う外国語の教科化に伴い、令和元年度から授業時数が大幅に増えているが、ALT の増員によって、小学校における、全ての外国語の授業で ALT を活用した授業を実施することができた。中学校では、1 校に 1 名の ALT を配置することにより、外国語科の時間はもとより、学校生活全体で国際教育の充実が図られた。また、自校や他校の児童生徒が薦める本が、子どもたちにとって大変魅力的なものとなり、選書の幅を広げることができた。

[担当：指導課] P. 377

0502 新型コロナウイルス感染症対策経費 5,265,419 円 (5,543,887 円)

[国・県 5,200,000 円 一財 65,419 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 5,200,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、取手市立小中学校における修学旅行及び校外学習の中止又は延期等に伴い発生した追加的経費を市が支援する。

○ 内容

修学旅行等中止に伴うキャンセル料等補助金

中学校	修学旅行 1 回目	5 校	2,802,196 円
	修学旅行 2 回目 (延期分)	4 校	1,598,611 円
	スキー学習	1 校	864,612 円

○ 効果

保護者の経済的負担を軽減することができた。

[担当：指導課] P. 377

1001 特別支援教育に要する経費 6,520,510 円 (6,479,065 円)

[国・県 390,000 円 その他 477,000 円 一財 5,653,510 円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 253,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 137,000 円]

[寄附金：教育費寄附金 477,000 円]

○ 目的

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・相談件数

区 分	R3 年度	R2 年度
未就学児	101 件	103 件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての審議を実施した。

・判定人数

区 分	R3 年度 (103 人)	R2 年度 (111 人)
新学齢児	47 人	53 人
在学児童生徒	56 人	58 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行った。

・講演会への参加者

区 分	R3 年度	R2 年度
研修会参加人数	33 人	52 人

・特別支援教育相談員報酬 (3 人分) 4,167,767 円

・発達検査謝礼 636,000 円

・訪問相談謝礼 800,000 円

(4) 学習障害のある児童生徒の早期発見・早期対応のための検査セット購入

・検査セット (4 種類 6 セット) 478,500 円

○ 効果

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の課題について早期に発見できたことに

より、幼児教育施設と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。
また、市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 377

2301 教育総合支援センターに要する経費 45,549,252 円 (34,320,901 円)

[国・県 563,000 円 その他 944,709 円 一財 44,041,543 円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 366,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 197,000 円]

[寄附金：教育費寄附金 645,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 240,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 27,009 円]

[諸収入：自動車損害保険料還付金 32,700 円]

○ 目的

児童生徒及び保護者からの学校生活における相談に応じて支援を行う。いじめや不登校児童生徒等に対応するために、在籍する小中学校や関係機関との連携し、適切な支援を行う。また、不登校で悩んでいる児童生徒のための適応指導教室を教育総合支援センターに併設することにより、学習面、人間関係の面での指導支援を継続的に行い、児童生徒の多様な学習の場を保障する。

○ 内容

・教育相談員報酬	7,354,626 円
・学校連携支援員報酬	3,337,225 円
・スクールカウンセラー報酬	3,887,400 円
・スクールソーシャルワーカー報酬	1,854,000 円
・子どもと親の相談員謝礼	3,381,000 円
・スクールロイヤー委託料	176,000 円
・相談室遮音壁設置工事	253,000 円
・教育総合支援センター用備品	752,843 円
・学校教材用備品	193,930 円

○ 効果

教育相談部会システムを推進するに当たり、学校連携支援員を中心として、各学校の教育相談部会に参加し、児童生徒の悩みや困りごとに学校がチームで対応できるようサポートすることができた。また、専門職であるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーがよりきめ細やかな支援を行った。

また、教育費寄附金により、適応指導教室用の図書の整備を行い、子どもたちが図書に触れ合う機会を持つことができた。また研修用 DVD 教材を購入し、教育相談事業のスキル向上を図ることができた。

[担当：指導課] P. 381

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,568,505 円 (2,303,400 円)

〈1,410,205 円〉※〈 〉は、うち2年度繰越分

[国・県 1,977,000 円 〈913,000 円〉 その他 〈497,205 円〉 一財 94,300 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,064,000 円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈913,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈497,205 円〉]

○ 目的

教育総合支援センターにおける施設衛生対策や相談業務に関わる飛まつ対策等の新型コロナウイルス感染症対策に資する備品を配備し、安全・安心な事業の継続性を確保する。

○ 内容

- ・空調設備設置工事 495,000 円
- ・自動水栓化工事 253,000 円
- ・トイレ改修工事 1,166,000 円
- ・教育総合支援センター用備品（空気清浄機） 316,800 円

○ 効果

教育総合支援センターにおける衛生対策及び飛まつ対策を行い、相談者及び職員の安全を確保し、事業を継続することができた。

[担当：指導課] P.381

4201 日本語指導員に要する経費 1,736,568 円 (2,666,534 円)

[一財 1,736,568 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者への通訳等

○ 内容

- ・日本語指導員報酬 1,696,744 円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
R3	7人	中国語1人 ポルトガル語5人 英語3人 韓国語1人 スペイン語2人
R2	7人	中国語1人 ポルトガル語2人 英語5人 韓国語2人 スペイン語2人

○ 効果

日本語指導員が支援することにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活への適応が図られた。

[担当：指導課] P.381

4202 新型コロナウイルス感染症対策経費 478,500 円

[国 478,000 円 一財 500 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 478,000 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国及び外国人児童生徒に対して、コロナ禍における状況においても日本語の指導及び教科学習の支援を行う。

○ 内容

- ・ 翻訳機（15 台） 478,500 円

○ 効果

翻訳機を利用することにより、日本語指導員や教員が児童生徒との接触機会を少なくすることができ、感染リスクの軽減につながった。

また、児童生徒の転入等により新たに日本語指導員が必要となった場合に、新型コロナウイルスの影響等により指導員の確保が難しい状況であっても、日本語の指導や教科学習の手助けとなり、日本語指導が必要な児童生徒とより早く、円滑に意思疎通が行えるようになった。

[担当：指導課] P.381

4501 学力向上推進事業に要する経費 418,428 円（301,847 円）

[その他 286,000 円 一財 132,428 円]

* 特財内訳

[寄附金：教育費寄附金 286,000 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の習得を図り、確かな学力を育成する。

また、教職員の指導力向上を目指した研修を充実させる。

○ 内容

- ・ 講師謝礼 102,000 円
- ・ 大型モニター等（2 台） 264,000 円

○ 効果

児童生徒の学力の向上を目指し、教職員の指導力を高める研修を計画的に実施することができた。藤代庁舎内に Wi-Fi 環境が整備されたことで、オンラインでの研修が可能になった。併せて、大型モニターを整備し、受講者の意見等を可視化しながら共有できるようにすることで、研修の充実を図ることができた。

[担当：指導課] P.381

5301 土曜日学習支援事業に要する経費 306,165 円（444,796 円）

[国・県 176,088 円 一財 130,077 円]

* 特財内訳

[県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 176,088 円]

○ 目的

土曜日に、児童に学習の機会と場所を提供し、自ら進んで学習する習慣を身につけるとともに、学力向上を図る。

○ 内容

取手市内の小学校高学年を対象に、児童が持参した学校の課題や教材等で自主学習を行う場所を、福祉会館・永山小コミュニティスペース・藤代庁舎の3会場に設けた。学習を支援する人材として、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアを

活用した。

会場	福社会館	永山小コミュニティ スペース	藤代庁舎
児童数	25人	28人	17人
学習支援員数	4人	4人	4人
高校生ボランティア数	36人	22人	60人

- ・土曜日学習支援員謝礼 240,000円
- ・消耗品等 20,545円
- ・ボランティア保険料 45,620円

○ 効果

自ら進んで学習する習慣が身につくとともに、日常では関わることの少ない、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアと交流する貴重な場となった。

[担当：指導課] P. 383

5401 オリンピック・パラリンピック教育推進事業に要する経費

136,600円(82,824円)

[国・県 136,600円]

* 特財内訳

[県委：オリンピック・パラリンピック教育推進事業委託金 136,600円]

○ 目的

オリンピック・パラリンピックムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、児童生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

○ 内容

取手西小学校において、東京パラリンピックのボッチャ日本代表監督を招いて講演会と体験会を実施した。また、パラリンピックの意義や魅力について学習をし、お年寄りや障害がある人々が過ごしやすい世界を作るためにはどうすればよいか調べ、プレゼンテーションソフトにまとめ発表した。

- ・講師謝礼 101,400円

○ 効果

実際にパラリンピック種目を体験することで、パラリンピック種目そのものに健常者とハンディキャップをもっている人の垣根を外す可能性があることを実感できた。また、ボッチャの講演会を実施する前後では、パラリンピック種目に対する興味関心が変化し、パラリンピック種目を体験したいと思う割合が増加した。

[担当：指導課] P. 383

5501 特色ある新しい学校教育の推進に要する経費 4,931,960円(445,280円)

[その他 3,450,000円 一財 1,481,960円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,450,000円]

○ 目的

地域資産であるアートの取組を生かし、取手市ならではの特色ある新しい学校教育を

創出する。

○ 内容

令和3年度より山王小学校は小規模特認校へ移行し、小学校6年間における「創造する力、表現する力」を育む新たな特色ある学校教育を展開し、市内から幅広く就学児童の受入れを行った。

アーティストと児童の交流事業として、外国籍のアーティストを招き、短期間学校に滞在し、児童とともに創作活動を行う「となりのスタジオ」を実施した。

「大地からはじまること」では、身の回りにある自然から素材を得て、手を加える方法を学び、時間をかけてものを形づくることを体感するプログラムを実施した。

- ・アーティストと児童の交流事業委託料 4,931,960円

○ 効果

令和3年7月13日、15日に実施した山王小学校オープンデーでは、総数28名が山王小学校を訪れた。また、12月16日に実施した学校説明会には56名の参加者があり、市民への周知が進んだ。引き続き小学校6年間を通して「創造する力、表現する力」を育む教育を展開していく。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：子ども青少年課] P.383

1001 青少年健全育成に要する経費 10,478,232円(9,787,275円)

[国・県 47,950円 その他 7,986円 一財 10,422,296円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 47,950円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 7,986円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と、市内7か所に配置した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受ける。また、学校や警察などの関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消に努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 特別青少年相談員(2人) 2,666,260円
- ・謝礼 青少年相談員謝礼(53人) 5,978,400円(年額112,800円×53人)
- ・負担金、補助及び交付金(4団体) 1,097,300円

○ 効果

青少年に対し、家庭や学校などでの不安を解消するとともに非行を未然に防止し、心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.385

2001 小学校管理に要する経費 234,152,500円(213,567,957円)

[その他 12,666,932円 一財 221,485,568円]

＊ 特財内訳

- [使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,085,990 円]
- [繰入金：学校施設整備基金繰入金 754,000 円]
- [繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,175,000 円]
- [繰入金：森林環境譲与税基金繰入金 7,293,000 円]
- [諸収入：雇用保険料本人負担分 75,692 円]
- [諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 283,250 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

- ・ 県の少人数指導加配措置を受けていない小学校 6 校（永山小、取手西小、山王小、六郷小、久賀小、桜が丘小）に TT（ティームティーチング）講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎学力の定着を図った。
5,574,380 円
- ・ 教育補助員を 14 校に配置し、児童の学校生活の支援を行った。75,916,654 円

○ 効果

TT 講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。また、教育補助員を配置することで、児童の学校生活を支援することができた。

[担当：学務課] P.387

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 5,195,014 円（17,525,635 円）

[国・県 3,654,000 円 その他 2,221 円 一財 1,538,793 円]

＊ 特財内訳

- [国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,654,000 円]
- [諸収入：雇用保険料本人負担分 2,221 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、児童の学習環境の維持を図る。

○ 内容

- ・ 校内の消毒清掃を行うための業務委託及び用務員の配置を実施した。
- ・ 教職員が電話連絡により、児童の家庭での状況や健康状態の確認を行った。

○ 効果

学校における新型コロナウイルス感染症対策を実施し、児童の学習環境の維持が図られた。

[担当：教育総務課] P.389

2101 小学校施設管理に要する経費 52,637,136 円（53,385,893 円）

[その他 5,660,000 円 一財 46,977,136 円]

＊ 特財内訳

- [繰入金：学校施設整備基金繰入金 5,660,000 円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- ・修繕料 各小学校の施設修繕料 17,907,406円
- ・委託料 各小学校の委託料 32,362,540円
- 設備保守点検（機械警備、浄化槽、消防設備、電気設備、エレベーター等）、
施設維持管理（草刈清掃、害虫駆除、樹木剪定等）

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課] P.391

2201 小学校保健衛生に要する経費 27,331,570円（25,494,961円）

[国・県 31,840円 その他 1,825,740円 一財 25,473,990円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 31,840円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金

@460円×3,969人=1,825,740円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施や学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 13,561,000円

区分	学校医（学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	25名（14名）	23名	14名

- ・児童・教職員集団検診委託料 4,646,785円

小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4年	1年	精密検査対象者	4年
R3	4,485人	518人	719人	5人	518人
R2	4,567人	585人	816人	8人	585人

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R3	83人	83人	83人	10人	83人	83人	83人
R2	79人	79人	79人	15人	81人	79人	79人

- ・教職員の「心の健康チェック」（ストレスチェック）の実施
- ・学校環境衛生検査の実施（教室等の環境検査・簡易専用水道検査）
- ・学校保健用備品（聴力検査機器）の購入

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P.391

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 16,638,185円（29,272,447円）

〈14,793,937円〉※〈〉は、うち2年度繰越分

[国・県 8,318,057 円 〈7,396,043 円〉 その他 〈7,397,894 円〉 一財 922,234 円]

* 特財内訳

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 〈7,396,043 円〉]

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 922,014 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈7,397,894 円〉]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、児童の学習保障をするための学校教育活動に必要な経費を支援する。

○ 内容

- ・学校活動に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童・教職員等が必要となる消毒液等の物品購入を行った。
- ・健康観察アプリを導入し、児童の登校前の健康観察（体温、体調管理、出欠など）を行った。
- ・児童の学びの保障として、感染状況に応じた感染症対策を徹底しながら、学校の教育活動を実施する際に必要となった校外学習のバス代等に要する経費の支援を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携して新型コロナウイルス感染症対策を実施し、各校の状況に応じた、感染症対策及び児童の学習保障並びに学習環境の維持が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P. 393

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 34,785,393 円 (26,677,020 円)

[国・県 715,000 円 その他 10,228,000 円 一財 23,842,393 円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 715,000 円]

[寄附金：教育費寄附金 8,088,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,140,000 円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図 書		合 計
				うち寄附金分	
R3	12,619,767	2,612,529	17,646,033	7,403,520	32,878,329
R2	12,812,911	2,138,580	10,292,497		25,243,988

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P. 395

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 46,302,875 円 (375,822,944 円)

[国・県 32,899,000 円 その他 3,924,991 円 一財 9,478,884 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 32,899,000 円]

[寄附金：教育費寄附金 687,991 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,237,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。また、GIGA スクール構想に伴う児童用タブレット端末の周辺環境整備を行う。

○ 内容

・パソコン使用料	7,776,000 円
・児童用タブレット端末周辺機器の購入	25,885,200 円
・大型提示装置の購入	3,461,700 円
・非常勤講師用タブレット端末の購入	3,406,452 円
・充電保管庫の購入	279,400 円
・電子黒板の購入	363,000 円
・プロジェクターの購入	203,500 円

○ 効果

児童用タブレット端末とデジタル教材、大型提示装置を併せて利用することで、ICT活用による教育の充実が図られた。

[担当：学務課] P.395

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 41,222,688 円 (40,842,781 円)

[国・県 3,360,515 円 一財 37,862,173 円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 143,515 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 3,217,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護・準要保護児童就学援助者数 (在校生)

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
R3	33 人	510 人	543 人
R2	43 人	518 人	561 人

・入学準備金支給者数

区 分	申請者数	支給者数
R3	72 人	67 人
R2	106 人	80 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R3	293 人	199 人
R2	292 人	198 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務課] P. 395

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 5,320,147 円 (9,810,010 円)

[国・県 4,727,000 円 一財 593,147 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,727,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に伴い、家庭での昼食費負担の増大が懸念されるため、それに対応した支援を行う。

感染症拡大の影響により保護者の収入が減少した世帯に対し、就学援助制度の収入認定特例措置を講じ、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

また、夏休みの読書感想文課題図書等を支給することで、保護者への経済的支援や児童の学習機会の確保を図る。

○ 内容

臨時休業期間中、家庭における昼食費負担を軽減するため、臨時休業 1 日当たり 300 円の昼食費補助を実施した。

また、令和 3 年中の収入状況による認定特例措置により就学援助対象となった世帯に対し、給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・収入認定特例措置

区分	認定者数	うち要保護数	うち準要保護数
R3	16 人	0 人	16 人
R2	19 人	0 人	19 人

・昼食費補助金

区分	支給額
R3	2,688,300 円
R2	8,635,500 円

・図書給付

配布人数	配布冊数	図書購入金額
504 人	1,008 冊	1,476,420 円

○ 効果

臨時休業期間中の昼食費補助を実施することにより、就学援助世帯の昼食費負担を軽減することができた。また、保護者に対し収入認定特例措置及び図書給付による経済的援助を行うことで、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 395

2901 小学校特別活動助成に要する経費 218,900円 (35,750円)

[一財 218,900円]

○ 目的

児童生徒科学研究作品展等を通して児童の活動への意欲を高める。

宿泊学習が水ぼうそう感染予防対策のために延期となったため、バスのキャンセル料を補助することで保護者の経済的負担の軽減を図る。

○ 内容

賞状印刷代 42,900円

修学旅行等中止に伴うキャンセル料等補助金 176,000円

○ 効果

児童生徒科学研究作品展や小学校読書感想文において優秀作品を表彰することにより、関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。また、水ぼうそう感染予防対策のために宿泊学習が延期となった際にバスのキャンセル料が発生したため、これを補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図った。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P. 397

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 4,775,400円

〈4,775,400円〉※〈〉は、うち2年度繰越分

[その他 〈4,775,400円〉]

* 特財内訳

[繰越金：前年度繰越金 〈4,775,400円〉]

○ 目的

学校衛生環境を整備し新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、小学校トイレ手洗いの自動水栓化工事を行う。

○ 内容

学校名	内容	金額(単位:円)
取手小学校	校舎・体育館トイレ手洗い自動水栓化工事(50箇所)	2,978,000
白山小学校	校舎トイレ手洗い自動水栓化工事(25箇所)	1,298,000
高井小学校	校舎トイレ手洗い自動水栓化工事(10箇所)	499,400

○ 効果

小学校トイレ手洗いの自動水栓化工事を行うことにより、水栓に接触する機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。

[担当：教育総務課] P. 397

2203 小学校建設事業に要する経費(白山小学校) 23,383,000円(0円)

[地方債 22,200,000円 その他 1,183,000円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 23,383,000円×95%≒22,200,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,183,000円]

○ 目的

老朽化の著しい白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事にかかる基本設計及び第1期工事の実施設計を行い、令和4年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

小学校校舎・体育館長寿命化改良工事实施設計業務委託料 23,383,000円

○ 効果

老朽化の著しい白山小学校校舎及び体育館の長寿命化改良工事にかかる基本設計及び第1期工事の実施設計を行い、令和4年度に速やかに着工できるよう準備を進めた。

[担当：教育総務課] P.397

2213 小学校建設事業に要する経費（高井小学校） 94,435,000円（3,080,000円）
〈94,435,000円〉※〈〉は、うち2年度繰越分
[国・県〈4,886,000円〉 地方債〈85,000,000円〉 その他〈4,549,000円〉]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金〈4,886,000円〉]

[市債：合併特例債〈(94,435,000円－4,886,000円)×95%≒85,000,000円〉]

[繰越金：前年度繰越金〈4,549,000円〉]

○ 目的

児童数増加による教室不足が懸念される高井小学校の校舎内部改修工事を行い、将来的に必要な教室数を確保する。

○ 内容

校舎内部改修工事 94,435,000円

○ 効果

児童数増加による教室不足が懸念される高井小学校の校舎内部改修工事を行い、現状の校舎で可能な限りの教室数を確保した。

[担当：教育総務課] P.399

2216 小学校建設事業に要する経費（藤代小学校） 516,493,000円（11,554,200円）
〈516,493,000円〉※〈〉は、うち2年度繰越分

[国・県〈141,218,000円〉 地方債〈372,600,000円〉 その他〈2,675,000円〉]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金〈141,218,000円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債〈102,139,000円×100%≒102,100,000円〉]

[市債：合併特例債〈(79,088,000円－28,316,000円)×95%≒48,200,000円〉]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債
〈(38,774,000円－13,018,000円)×100%≒25,700,000円〉]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債
〈(296,492,000円－99,884,000円)×100%≒196,600,000円〉]

[繰越金：前年度繰越金〈2,675,000円〉]

○ 目的

老朽化の著しい藤代小学校校舎の大規模改造工事（屋上防水、外壁、内装等改修及びエレベーター棟設置）を行い、安全かつ快適な教育環境の充実に努める。

○ 内容

校舎大規模改造工事監理業務委託料	11,302,000 円
校舎大規模改造工事	505,191,000 円

○ 効果

老朽化の著しい藤代小学校校舎の大規模改造工事（屋上防水、外壁、内装等改修及びエレベーター棟設置）を行い、安全かつ快適な教育環境の充実が図られた。

[担当：教育総務課] P.399

2220 新型コロナウイルス感染症対策経費 140,432,580 円（9,971,000 円）

〈126,451,000 円〉 ※ 〈 〉 は、うち 2 年度繰越分

[国・県 58,041,000 円 〈44,520,000 円〉 地方債 〈81,500,000 円〉

その他 〈431,000 円〉 一財 460,580 円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈32,000,000 円〉]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 13,521,000 円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈12,520,000 円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈17,597,000 円×100%≒17,500,000 円〉]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(96,000,000 円－32,000,000 円) ×100%=64,000,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈431,000 円〉]

○ 目的

学校衛生環境を整備し新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、小学校のトイレ改修工事を行う。

○ 内容

学校名	内容	金額（単位：円）
取手小学校	トイレ改修工事实施設計業務委託料	561,000
	校舎・体育館トイレ改修工事（洋式化）	12,389,000
藤代小学校	体育館トイレ改修工事（洋式化）	1,031,580
取手東小学校・桜が丘小学校	体育館トイレ改修工事（全面改修）	12,854,000
桜が丘小学校	トイレ改修工事实施設計業務委託料	2,167,000
	校舎トイレ改修工事（全面改修）	111,430,000

○ 効果

小学校のトイレ改修工事を行うことにより、学校衛生環境が整備され新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.401

2001 給食運営に要する経費 284,083,091 円（285,886,302 円）

[その他 143,794,998 円 一財 140,288,093 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,320,000 円]

[諸収入：小学校給食代自校分 142,445,264 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 29,734 円]

○ 目的

特別活動の学習活動に位置づけられる学校給食にて、安全でおいしい給食を提供することにより、教育の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検 (12 校)	1,120,460
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (8 校)	1,607,100
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (8 校)	1,199,000
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除 (14 校)	698,500
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託 (7 校) (取手小、白山小、寺原小、永山小、 取手西小、戸頭小、高井小)	109,338,900
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8 校)	904,200

・賄材料費 146,306,593 円

○ 効果

適正な施設運営や学校等給食費の計画的徴収を図る中で、栄養バランスや質・量、安全面・公衆衛生の他、食育を考慮した上での和・洋・中とバラエティに富んだ行事食等の展開と教育の充実に資することができた。

[担当：保健給食課] P.403

2101 給食施設整備に要する経費 5,859,248 円 (8,535,461 円)

[その他 2,405,000 円 一財 3,454,248 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 300,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,005,000 円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

・修繕料 (施設や厨房機器等の修繕)	3,378,748 円
・工事請負費 (取手小学校給湯器改修工事)	495,000 円
・備品購入費 (取手小学校業務用冷凍庫・業務用冷蔵庫等)	1,985,500 円

○ 効果

給食室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

[担当：保健給食課] P.403

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 3,536,500 円 (440,000 円)

[国・県 3,535,000円 一財 1,500円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,535,000円]

○ 目的

給食室従事者専用として、給食室に設置されているトイレ個室に自動水栓手洗い器の設置と給食室内で自動水栓化されていない手洗い器を自動水栓に交換、その他必要な改修工事を行うことで、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。

○ 内容

工事請負費（小学校4校分トイレ改修工事・自動水栓化工事） 3,536,500円

○ 効果

給食室内の感染症対策の徹底を図ることで、学校給食を円滑に提供することができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務課] P.405

2001 中学校管理に要する経費 67,870,897円（63,657,874円）

[その他 2,317,323円 一財 65,553,574円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 449,700円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 83,720円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 11,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,740,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 27,234円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 5,669円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へとつなげる。

○ 内容

教育補助員を2校（取手第一中学校・藤代南中学校）に配置し、生徒の学校生活の支援を行った。1,382,956円

学校司書を全中学校に配置し、学校図書室の整備を図った。5,415,351円

○ 効果

教育補助員を配置することで、生徒の学校生活を支援することができた。また、学校司書を配置することで、学校図書室の充実が図られた。

[担当：学務課] P.407

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,275,824円（1,143,910円）

[国・県 1,731,000円 一財 544,824円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,731,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、生徒の学習環境の維持を図る。

○ 内容

- ・校内の消毒清掃を行うための業務委託を実施した。
- ・教職員が電話連絡により、生徒の家庭での状況や健康状態の確認を行った。

○ 効果

学校における新型コロナウイルス感染症対策を実施し、生徒の学習環境の維持が図られた。

[担当：教育総務課] P.407

2101 中学校施設管理に要する経費 24,628,027 円 (25,645,063 円)

[その他 4,080,000 円 一財 20,548,027 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 4,080,000 円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- ・修繕料 各中学校の施設修繕料 10,542,589円
 - ・委託料 各中学校の委託料 12,988,097円
- 設備保守点検（機械警備、浄化槽、消防設備、電気設備、エレベーター等）、施設維持管理（草刈清掃、害虫駆除、樹木剪定等）

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：保健給食課] P.409

2201 中学校保健衛生に要する経費 14,010,454 円 (13,274,283 円)

[国・県 18,840 円 その他 863,420 円 一財 13,128,194 円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 18,840 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×1,877 人=863,420 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施や、学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医（学校産業医）及び学校歯科医、学校薬剤師の報酬 6,154,000 円

区分	学校医（学校産業医）	学校歯科医	学校薬剤師
人数	12名（6名）	10名	6名

- ・生徒・教職員集団検診委託料 3,539,745 円

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
R3	2,207人	466人	745人	1人	466人

R2	2,313人	505人	884人	3人	505人
----	--------	------	------	----	------

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R3	54人	54人	54人	11人	54人	54人	54人
R2	51人	51人	51人	6人	52人	51人	51人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(教室等の環境検査・簡易専用水道検査)

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P.409

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 8,097,895円(13,054,145円)

〈7,197,923円〉※〈〉は、うち2年度繰越分

[国・県 4,048,943円〈3,598,957円〉 その他〈3,598,966円〉 一財 449,986円]

* 特財内訳

[国補：学校保健特別対策事業費補助金〈3,598,957円〉]

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 449,986円]

[繰越金：前年度繰越金〈3,598,966円〉]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、生徒の学習保障をするための学校教育活動に必要な経費を支援する。

○ 内容

- ・学校活動に際して、密閉・密集・密接を回避し、生徒・教職員等が必要な消毒液等の物品購入を行った。
- ・健康観察アプリを導入し、生徒の登校前の健康観察(体温、体調管理、出欠など)を行った。
- ・生徒の学びの保障として、感染状況に応じた感染症対策を徹底しながら、学校の教育活動を実施する際に必要となった校外学習のバス代等に要する経費の支援を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携して新型コロナウイルス感染症対策を実施することで、各校の状況に応じた感染症対策及び生徒の学習保障、学習環境の維持が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務課] P.411

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 20,035,613円(17,257,682円)

[国・県 613,000円 その他 5,016,000円 一財 14,406,613円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 613,000円]

[寄附金：教育費寄附金 3,636,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,380,000円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書		合 計
				うち寄附金分	
R3	5,692,519	1,828,752	10,169,175	3,549,493	17,690,446
R2	6,933,611	1,394,216	6,912,851		15,240,678

○ 効果

各教科の指導を進める上で不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務課] P.411

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 32,538,629円 (182,904,917円)

[国・県 17,704,000円 一財 14,834,629円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 17,704,000円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。また、GIGAスクール構想に伴う生徒用タブレット端末の周辺環境整備を行う。

○ 内容

・パソコン使用料	14,319,504円
・生徒用タブレット端末周辺機器の購入	12,748,890円
・大型提示装置の購入	1,323,300円
・非常勤講師用タブレット端末の購入	3,633,548円

○ 効果

生徒用タブレット端末とデジタル教材、大型提示装置を併せて利用することで、ICT活用による教育の充実が図られた。

[担当：学務課] P.411

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 36,017,166円 (29,280,339円)

[国・県 1,888,000円 一財 34,129,166円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 110,000円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,778,000円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護生徒就学援助者数（在校生）

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
R3	22 人	291 人	313 人
R2	21 人	288 人	309 人

・入学準備金支給者数

区 分	申請者数	支給者数
R3	97 人	97 人
R2	95 人	95 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R3	106 人	71 人
R2	87 人	56 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務課] P.413

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 3,203,251 円 (5,611,249 円)

[国・県 3,038,000 円 一財 165,251 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3,038,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に伴い、家庭での昼食費負担の増大が懸念されるため、それに対応した支援を行う。

感染症拡大の影響により保護者の収入が減少した世帯に対し、就学援助制度の収入認定特例措置を講じ、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

また、夏休みの読書感想文課題図書等を支給することで、保護者への経済的支援や生徒の学習機会の確保を図る。

○ 内容

臨時休業期間中、家庭における昼食費負担を軽減するため、臨時休業1日当たり300円の昼食費補助を実施した。

また、令和3年中の収入状況による認定特例措置により就学援助対象となった世帯に対し、給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・収入認定特例措置

区分	認定者数	うち要保護数	うち準要保護数
R3	4 人	0 人	4 人
R2	5 人	0 人	5 人

・昼食費補助金支給額

区分	支給額
R3	1,621,500 円
R2	4,880,700 円

・図書給付

配布人数	配布冊数	図書購入金額
297人	594冊	913,022円

○ 効果

臨時休業期間中の昼食費補助を実施することにより、就学援助世帯の昼食費負担を軽減することができた。また、保護者に対し収入認定特例措置及び図書給付による経済的援助を行うことで、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P.413

2901 中学校特別活動助成に要する経費 11,768,609円 (6,079,422円)

[一財 11,768,609円]

○ 目的

音楽発表・体育大会等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金	785,200円
・中学校体育連盟補助金（総体代替大会等運営経費）	494,000円
・市内体育大会補助金（新人体育大会バス代半額補助）	2,830,030円
・関東大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	551,616円
・全国大会補助金（大会参加費・交通費・宿泊費補助）	645,512円
・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	6,438,601円
・賞状印刷代	23,650円

○ 効果

音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心、意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課] P.413

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 917,400円

〈917,400円〉※〈〉は、うち2年度繰越分

[国・県〈800,000円〉 その他〈117,400円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金〈800,000円〉]

[繰越金：前年度繰越金〈117,400円〉]

○ 目的

学校衛生環境を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、中学校トイレ手洗いの自動水栓化工事を行う。

○ 内容

学校名	内容	金額（単位：円）
取手第二中学校	体育館トイレ手洗い自動水栓化工事（4箇所）	273,900
永山中学校	校舎トイレ手洗い自動水栓化工事（6箇所）	374,000
戸頭中学校	体育館トイレ手洗い自動水栓化工事（4箇所）	269,500

○ 効果

中学校トイレ手洗いの自動水栓化工事を行うことにより、水栓に接触する機会が減少し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。

[担当：教育総務課] P.415

2104 中学校建設事業に要する経費（永山中学校） 880,000 円（0 円）

[その他 880,000 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 880,000 円]

○ 目的

浄化槽設備の老朽化が著しい永山中学校について、浄化槽を廃止し公共下水道に接続するための実施設計を行い、令和4年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

・ 公共下水道接続工事実施設計業務委託料 880,000 円

○ 効果

浄化槽設備の老朽化が著しい永山中学校について、浄化槽を廃止し公共下水道に接続するための実施設計を行い、令和4年度に速やかに着工できるよう準備を進めた。

[担当：教育総務課] P.415

2108 新型コロナウイルス感染症対策経費 124,924,800 円

〈95,091,900 円〉 ※ 〈 〉 は、うち2年度繰越分

[国・県 51,984,000 円 〈23,140,000 円〉 地方債 〈71,600,000 円〉

その他 〈351,900 円〉 一財 988,900 円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈23,140,000 円〉]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 28,844,000 円]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈3,475,000 円×100%≒3,400,000 円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈9,186,000 円×100%≒9,100,000 円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈12,126,000 円×100%≒12,100,000 円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈884,900 円×100%≒800,000 円〉]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(69,420,000 円－23,140,000 円) ×100%≒46,200,000 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈351,900 円〉]

○ 目的

学校衛生環境を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、中学校のトイレ改修工事を行う。

○ 内容

学校名	内容	金額（単位：円）
取手第一中学校	トイレ改修工事実施設計業務委託料	1,397,000
	校舎・体育館トイレ改修工事（洋式化） 武道場トイレ改修工事（全面改修）	30,107,000
取手第二中学校	トイレ改修工事実施設計業務委託料	1,265,000

	校舎・体育館トイレ改修工事(洋式化) 武道場トイレ改修工事(全面改修)	42,350,000
藤代中学校	トイレ改修工事実施設計業務委託料	1,298,000
	校舎トイレ改修工事(洋式化) 武道場トイレ改修工事(全面改修)	25,168,000
藤代南中学校	トイレ改修工事実施設計業務委託料	880,000
	武道場トイレ改修工事(全面改修)	6,004,900
永山中学校	トイレ改修工事実施設計業務委託料	638,000
	校舎・体育館トイレ改修工事(洋式化)	15,123,900
戸頭中学校	体育館トイレ改修工事(洋式化)	693,000

○ 効果

中学校のトイレ改修工事を行うことにより、学校衛生環境が整備され新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減が図られた。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：保健給食課] P.415

2001 給食運営に要する経費 158,016,091 円 (160,076,358 円)

[その他 80,202,815 円 一財 77,813,276 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,180,000 円]

[諸収入：中学校給食代自校分 79,013,143 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 9,672 円]

○ 目的

特別活動の学習活動に位置づけられる学校給食にて、安全でおいしい給食を提供することにより、教育の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検 (6 校)	750,200
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃 (4 校)	955,900
給食室病虫害防除委託料	給食室等の病虫害の防除 (6 校)	605,000
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃 (4 校)	737,000
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託 (4 校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	64,456,700
空調機保守点検委託料	空調設備保守点検業務委託 (4 校)	281,600

・賄材料費 79,583,971 円

○ 効果

適正な施設運営や学校等給食費の計画的徴収を図る中で、栄養バランスや質・量、安全面・公衆衛生の他、食育を考慮した上での和・洋・中とバラエティに富んだ行事食等の展開と教育の充実に資することができた。

[担当：保健給食課] P.417

2101 給食施設整備に要する経費 4,278,197円(5,002,283円)

[その他 2,190,000円 一財 2,088,197円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,150,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,040,000円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

- ・修繕料（施設や厨房機器等の修繕） 3,309,097円
- ・備品購入費（取手第二中学校業務用保冷庫等） 969,100円

○ 効果

給食室内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。

[担当：保健給食課] P.417

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,387,000円(246,400円)

[国・県 2,387,000円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,387,000円]

○ 目的

給食室従事者専用として、給食室に設置されているトイレ個室に自動水栓手洗い器の設置と給食室内で自動水栓化されていない手洗い器を自動水栓に交換、その他必要な改修工事を行うことで、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。

○ 内容

工事請負費（中学校2校分トイレ改修工事・自動水栓化工事） 2,387,000円

○ 効果

給食室内の感染症対策の徹底を図ることで、学校給食を円滑に提供することができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務課] P.419

2001 幼稚園管理に要する経費 52,211,415円(10,459,886円)

〈46,927,000円〉※〈〉は、うち2年度繰越分

[国・県〈12,592,000円〉 地方債〈34,200,000円〉

その他 180,422円〈135,000円〉 一財 5,238,993円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金〈12,592,000円〉]

[市債：幼稚園施設整備事業債〈9,265,000円×100%≒9,200,000円〉]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(37,662,000円－12,592,000円)×100%≒25,000,000円〉]

[繰越金：前年度繰越金〈135,000円〉]

[使用料：市立幼稚園預かり保育料 40,600 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 4,822 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

老朽化の著しい藤代幼稚園の大規模改造工事（外壁及び内装等改修）を行い、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
R3	10 人	10 人	20 人
R2	10 人	17 人	27 人

老朽化の著しい藤代幼稚園の大規模改造工事を行った。

- ・大規模改造工事監理業務委託料 1,018,000 円
- ・大規模改造工事 45,909,000 円

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、幼児教育の振興が図られた。

大規模改造工事（外壁及び内装等改修）を行い、安全かつ快適な教育環境の充実を図ることができた。

[担当：保健給食課] P.421

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 664,537 円（644,598 円）

[その他 2,430 円 一財 662,107 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135 円×18 人=2,430 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・園医及び園歯科医、園薬剤師の報酬 570,000 円

区分	園医	学校歯科医	園薬剤師
人数	1 名	1 名	1 名

- ・園児・教職員集団検診委託料 5,610 円

区分	腎臓検診
R3	17 人
R2	24 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

[担当：保健給食課] P.423

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 499,935 円（959,550 円）

[国・県 249,000 円 一財 250,935 円]

* 特財内訳

[国補：教育支援体制整備事業費補助金 249,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策に必要な環境整備を行うことにより、質の高い環境で、子どもを安心して育てることができる体制を整える。

○ 内容

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、密閉・密集・密接を回避するために必要となる物品等の購入を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のために必要となる消毒液や石けん等の保健衛生用品を購入し、安全・安心な幼児教育の環境整備を図った。

○ 効果

市立幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策を行い、園児の教育環境の維持が図られた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：生涯学習課] P. 427

2201 生涯学習推進に要する経費 1,670,226 円 (1,618,417 円)

[一財 1,670,226 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を、とりで学遊プラザリーダーバンク登録者及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派遣分野	R3 年度		R2 年度	
	件数	受講者決定数	件数	受講者決定数
リーダーバンク編・講座数	13	313 人	6	138 人
行政編・講座数	43	1,101 人	25	645 人
合計	56	1,414 人	31	783 人

(2) 市民大学

・市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講決定者数
「徳川斉昭・慶喜・昭武と渋沢栄一」第1回 松戸市戸定歴史館名誉館長 齊藤 洋一 氏	12月4日(土)	192人
「徳川斉昭・慶喜・昭武と渋沢栄一」第2回 茨城県立歴史館特任研究員 永井 博 氏	12月11日(土)	179人
「徳川斉昭・慶喜・昭武と渋沢栄一」第3回 聖徳大学教授 大庭 邦彦 氏	1月22日(土)	122人

・市民大学特別講座

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
「地球温暖化防止講演会」 地球環境戦略研究機関理事長 東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 武内 和彦 氏	8月12日(木)	98人
「平成経済の回顧と令和の課題」 元内閣審議官・学校法人中内学園理事 流通科学研究所副所長 前川 守 氏	9月30日(木)	108人
「コミュニティ(市民)防災を進めよう」第1回 NPO法人環境防災総合研究機構環境・防災研究所副所長 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授 松尾 一郎 氏	12月20日(月)	74人
「コミュニティ(市民)防災を進めよう」第2回 NPO法人環境防災総合研究機構環境・防災研究所副所長 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授 松尾 一郎 氏	3月22日(火)	69人
プログラミング体験講座 プラチナマイスター(プラチナ未来スクール)、大学生 スタッフ、パソボラ取手	3月15日(火) 3月22日(土) 3月29日(火)	34人
プログラミング講座 プラチナマイスター(プラチナ未来スクール)、大学生 スタッフ、パソボラ取手	4月1日(木) ～3月31日(木) (年30回)	10人

(3) 家庭教育学級

市立幼稚園・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、幼稚園・小中学校に家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により全体研修会を実施した。

21学級 参加者数 58人

○ 効果

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、各種講座の専門講師陣により市民に興味のあることについて専門的な知識を取得する機会を提供することができた。

家庭教育学級では、脳科学を活かした子どもへの対応をテーマにした全体研修会を開催し、家庭での教育力の向上が図られた。令和3年度は、コロナ禍のため、多くの講座が中止となる中、実施できるものは感染症対策を行った上で実施した。

【担当：文化芸術課】 P.427

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 2,567,249円(1,813,083円)

[その他 926,000円 一財 1,641,249円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 630,000円]

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 296,000円]

○ 目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第46回 取手美術 作家展	6/12～6/23 (12日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。38人の作家が出品。 会場：とりでウェルネスプラザ 委託料：900,000円	1,696人
第52回 取手市民 美術展	10/29～12/6 (うち33日間)	日本画、洋画、彫刻の部 81点 写真、書、工芸、デザインの部 85点 (招待作品を含む。) 小中学生の部 1,062点 会場：とりでアートギャラリー 報償費・需用費・役務費：495,149円	6,282人
取手市文化祭 (取手地区)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
とりでスкуль・アートフェスティバル	1/16～1/22 (7日間)	市内にある高等学校全7校の芸術教育の作品や演奏の発表。 会場：取手ウェルネスプラザ、とりでアートギャラリー 委託料：296,000円	600人

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	215,000円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動休止	
よいなかまの会	42,000円	団体の運営補助

○ 効果

各文化団体へ補助金を交付することにより、市民が行う文化活動の活性化に寄与した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあるが、感染症拡大防止策を講じ、実施した事業については、内容を工夫し、来場者の満足度向上につながった。

〔担当：文化芸術課〕 P.429

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 89,944,889円 (91,701,972円)

〔その他 1,580,000円 一財 88,364,889円〕

* 特財内訳

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 1,580,000円〕

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 需用費（修繕料）：2,126,300円

修繕名	内容	工期	金額
市民会館・福社会館 自動ドア修繕	保守点検での指摘に伴う修繕	11/20～3/31	1,650,000円
市民会館・福社会館 消防設備修繕	消防設備点検での指摘に伴う修繕	1/8～3/31	217,800円
市民会館舞台 照明設備（強電盤類）修繕	経年劣化への対応のため修繕	3/11～3/31	258,500円

(2) 委託料

平成18年度から市民会館・福社会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者：公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料：87,731,000円

年度	施設名	使用件数	入場者数 利用者数	稼働率 (使用日数/使用可能日数)
R3	市民会館	207件	27,960人	68.5%
	福社会館	6,980件	90,370人	100%
R2	市民会館	113件	13,526人	49%
	福社会館	4,851件	74,643人	100%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年8月18日～9月26日まで休館した。

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し、文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P.429

2902 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,481,280円（1,937,442円）

[国・県 2,481,280円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,481,280円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、利用制限があった期間の減収を補償するため、施設管理者へ支援金を交付する。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ベルトパーテーションを購入し、利用者の安全を確保する。

○ 内容

(1) 休業支援金：1,524,000円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時に休館した期間（令和3年1月18日から2月8日、8月18日から9月26日）における減収分の1/2を支援金として交付した。

(2) 利用制限支援金：622,000 円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館しているが利用制限があった期間（令和2年度）における減収分の1/2を支援金として交付した。

○ 効果

施設管理者の運営管理が健全化し、安定した。また、感染症拡大防止に努め、利用者の安全安心な施設利用につながった。

[担当：文化芸術課] P. 429

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 4,154,931 円 (2,474,687 円)

[その他 3,870,000 円 一財 284,931 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,870,000 円]

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 2,000,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1) 東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：2,000,000 円 (500,000 円×4 人)

第70回東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀美術作品2点（日本画・工芸）、及び音楽分野では優秀者2人（チェロ・テナー・トロンボーン）に市長賞を授与した。美術部門の受賞作品は、とりでアートギャラリーに展示した。音楽部門の受賞者は、令和4年12月のふれあいコンサートで演奏を予定している。

種類	作品名	作者／受賞者
日本画	そこにいる。	川口 富裕実
工芸（漆芸）	skin ship	鈴木 阿弥
チェロ		神倉 辰侑
テナー・トロンボーン		笠間 勇登

(2) 市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

東京芸術大学の学生等が、市立小中学校で美術又は音楽の指導を行う事業。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音楽指導は中止となった。美術指導は12校で実施し、授業で児童に絵画技法等を指導した。

委託料：小学校（美術）指導 1,870,440 円（派遣人数109人）

(3) 東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼：80,000 円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/17（土）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
12/18（土）	市民会館	令和2年度取手市長賞受賞者によるオルガンのコンサート	1人※	140人

※同コンサートで演奏予定だったピアノは、令和4年度に延期とした。

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：生涯学習課] P.431

3101 郷土資料収集・整理・保存に要する経費 5,580,252円(5,877,394円)

[その他 2,763,115円 一財 2,817,137円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,150,000円]

[諸収入：市史売却代 613,115円]

○ 目的

令和2年の市制施行50周年の記念事業として、取手市史・藤代町史編さんの成果に市制施行50年の歩みを加え、「多くの人が手に取って、読んで、内容を理解し、親しめる」取手市史追補版を編さんし、刊行する。

○ 内容

(1) 市制施行50周年記念『取手市史追補版』編さん事業

平成30年度から令和2年度にかけて、3年間で収集・調査した資料に基づき、『目で見る取手の歩み』本編と概要版を令和3年10月2日に発刊し、頒布を開始した。

【主な経費】

- ・『目で見る取手の歩み』本編・概要版印刷製本費 2,871,000円
本編 規格：A4並製本、200ページ 印刷部数：2,000部
概要版 規格：A4観音折、8ページ 印刷部数：4,000部
- ・概要版増刷分(400部)印刷製本費 51,920円

【販売等】

- ・本編(概要版付き)：1部 1,000円で頒布
- ・概要版：無料配布
- ・令和3年度販売冊数：522冊

(2) 郷土資料収集・整理・保存事業

『取手市史』、『藤代町史』編さん事業から引き継いだ郷土資料や新たに寄贈を受けた資料等を、住民共有の文化的資産として後世に引き継ぎ、活用するため、継続的に郷土資料の整理や保存を進めた。

【主な経費】

- 会計年度任用職員報酬 2,350,801円
- ・古文書・民具等郷土資料整理補助員 2名(週3日、5.5時間勤務)
- ・歴史的文書整理補助員 1名(週3日、5.5時間勤務)

○ 効果

取手市史追補版の『目で見る取手の歩み』を編集・発刊したことで、郷土史の調査・研究が進んだ。また、郷土の歴史について広く知ってもらうことができた。

[担当：文化芸術課] P.431

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 38,401,374円(27,093,246円)

[国・県 5,777,000 円 その他 28,106,120 円 一財 4,518,254 円]

* 特財内訳

[国補：文化芸術振興費補助金 5,777,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 13,430,000 円]

[諸収入：取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,350,000 円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 5,019,120 円]

[諸収入：コミュニティ助成事業助成金（地域の芸術環境づくり）5,000,000 円]

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 3,307,000 円]

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用し、他市町村にはない文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手ジャズフェスティバル」

○ 内容

委託料：4,000,000 円（公益財団法人取手市文化事業団）

開催日：2月12日（土）、2月13日（日）

市民会館大ホールにて市民ビッグバンド、プロバンド（4 団体）の演奏を、市民会館ロビーにてアマチュアバンド（8 団体）の演奏を行った。

○ 効果

優れた演奏を鑑賞しに市内外から多くの人（2 日間で入場者数 1,165 人）が来場し、文化・芸術によるまちづくりの推進が図られた。

(2) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：722,729 円（NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス）

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、アーティストの活動を支援する事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

①アートに関わる人たちのためのスキルアップ講座「アートの現場を記録で届けようー伝わる写真とはなにか？」を開催。作品だけでなく、アートの活動現場を伝える方法の講座。（19 人参加）

②「対話型鑑賞ツアー」言語化能力や論理的思考力の向上を目指し、アート作品を複数の人たちと対話しながら鑑賞するプログラムを実施。（2 回実施 計 32 人参加）

○ 効果

アーティストへの直接的なサポートとアーティストを間接的に支える技術を学べる機会を提供した。対話型鑑賞ツアー参加者に、芸術作品は、ただ鑑賞するだけでなく様々な能力を育成できる効果があることを周知できた。

(3) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料：5,855,640 円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンターにある一棟を UR 都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供した。

・UR 都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして提供。

- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担。
- ・1戸につき2人以上、利用期間2年。
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加を条件としており、令和3年度は、11月にオープンスタジオが開催され、ワークショップや青空市でにぎわった。
- ・賃借人数

スタジオ名	101 (管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	4人	4人	4人	4人	5人

○ 効果

25人のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。空き店舗を利用して地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(4) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金：3,240,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

取手アートプロジェクト（TAP）は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の3者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行っているプロジェクトである。

令和3年度事業	活動テーマ「コロナの時代を経験して～近い未来の文化のために」
開催期間	通年
主な事業内容	<p>①自然素材から作品を生み出す表現実験「紙からつくる大空凧（だこ）プロジェクト2021」 地元の自然素材で再生した12畳の大だこを揚げ、地域のコミュニティ再生の足掛かりをつくった。</p> <p>②ヤギの目でアートと社会を見るプロジェクト 若手芸術家の活動の場及び地域の多世代の住民がかかわるツールとしてヤギを育てながら社会と芸術を考えていくプロジェクトで、ワークショップや実験的な作品の制作などを行った。</p> <p>③開発中プログラムジッケンツアー 将来的な協働体制の構築につなげるための実験的プログラム。パブリックアートでの対話型鑑賞などを実施した。</p>

- ・コミュニティ助成事業助成金（地域の芸術環境づくり）

補助金：5,000,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

公益財団法人自治総合センター「令和3年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）」の助成を受けた事業。「郊外型アーツ・センター実践プロジェクト 芸術を耕すアート・プレイグラウンド取手のアートポイントをつなぐ旅」を実施。

- ・文化芸術振興費補助金

補助金：5,777,000円（取手アートプロジェクト実行委員会）

文化庁「令和3年度文化芸術振興費補助金（文化芸術創造拠点形成事業）」の助成を受けた事業。「創造郊外都市～共創型アート・センター実験室2022」を実施。

○ 効果

市民が市内各所で芸術的活動に触れることができ、触れることにより各人がそれぞれの課題にそれぞれのやり方で向き合い、解決できるような機会を提供するため活動してきた。コロナ禍で様々な制約があったが、その制約の中でも活動するためのノウハウを獲得することができ、芸術家と新たな形で関係を結び直すことができた。この芸術家との関係性に市民を巻き込み、芸術の持つ働きを市民に訴えかける下地を築くことができ

た。

(5) JOBAN アートライン協議会

○ 内容

負担金：150,000 円

JR 常磐線沿線の 4 区 4 市（台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市）と、東京芸術大学、そして JR 東日本東京支社が「アート」をキーワードとした協議会を構成。常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、それぞれの「街」や「人」をつなげていく取り組みをしている。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、謎解きスタンプラリーを中止し、負担金は当初の 40 万円から 15 万円に減額となった。4 区 4 市でアートアンブレラ（アートワークショップ、芸大生によるライブペイント）、取手で駅からハイキング、上野駅 Break ステーションギャラリーでアートアンブレラ展示を行い、PR 冊子の軽微な修正と 5,000 部の増刷も実施した。

○ 効果

JR 常磐線沿線の住人に限らず、JOBAN アートライン協議会の認知度向上に寄与し、常磐線沿線の多種多様なアート資源の PR につながった。

(6) 壁画によるまちづくり事業

○ 内容

取手市壁画によるまちづくり実行委員会委託料：7,000,000 円

環境美化や市民の皆様に広く芸術に親しんでもらうため、壁画によるまちづくりを推進し、市内各所に壁画を制作している。今回、JR 取手駅西口線路擁壁に市内 18 作品目の壁画を制作した。

○ 効果

環境美化と市民が日常的に芸術に親しめる環境を創出した。「アートのまち取手」「壁画によるまちづくり」の PR につながり、第 4 回チャレンジいばらきまちづくり表彰「景観・屋外広告部門」を受賞した。

(7) ストリートアートステージ事業

○ 内容

ストリートアートステージリング製作委託料：1,980,000 円

ストリートアートステージリング作品設置工事：2,805,000 円

アートのあるまちづくりを基本理念として、様々な空間を利用して街そのものを美術館化していく事業の一つ。東京芸術大学に制作委託し、屋外アートギャラリー（ストリートアートステージ）に作品を展示してきた。令和 3 年度は 2017 年から展示されていた作品をリング化し、取手市役所本庁舎前に設置した。リング化については、最後になるため集大成のリーフレットの作成も行った。

○ 効果

人々が集う場所に作品を設置することで芸術を身近に感じ、芸術文化の育成に貢献することができた。

[担当：文化芸術課] P.433

3302 新型コロナウイルス感染症対策経費 24,163,856 円 (7,499,820 円)

〈14,056,906 円〉※ 〈 〉 は、うち 2 年度繰越分

[国・県 22,033,400 円 〈11,927,400 円〉 その他 〈2,129,506 円〉 一財 950 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈11,927,400 円〉]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 10,106,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈2,129,506 円〉]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、活動の機会が減少した芸術家の経済的な支援と活動の幅を広げる機会の提供を目的とする。

(1) アート創作活動拠点オンライン公開事業：6,685,030 円

○ 内容

前年度に引き続き、芸術家のスタジオや活動の様子を取材し、インターネットで公開した。さらに、当市の芸術家の様子を海外にも発信できるよう、サイト内に英語ほか6か国語のページを作成した。(参加芸術家：15 組)

○ 効果

市内で活動する芸術家の存在を市民に知ってもらうことができ、市民と芸術家が関わる機会の提供ができた。また、芸術家が活動を拡大していく端緒にもなった。

(2) 放課後子どもクラブ芸術家パートナーシップ事業：7,371,876 円

○ 内容

市内 14 か所の放課後子どもクラブへ芸術家を派遣し、芸術活動を介して子どもたちと芸術家の交流機会を提供した。(参加芸術家：23 人)

○ 効果

芸術家の専門的な技術や芸術家の世界観に子どもたちが触れることによって、価値観の多様化、自己肯定感向上のきっかけを与えることができた。また、芸術家にとっては、これまでの制作・研究の経験を活かしながら、新しいことに挑戦する機会、子どもたちとの芸術活動を介して新たな表現の可能性を見いだす場となった。

(3) 壁画によるまちづくり事業

○ 内容

取手市内在住、あるいは取手市を拠点にして活動する芸術家の経済支援を目的に、市民会館での壁画制作と市内 16 か所の壁画の現状調査と調査で劣化がみられた 2 か所の壁画の修復を委託により実施した。(参加芸術家：延べ 388 人)

・市民会館壁画制作 委託料：6,930,000 円 (壁画によるまちづくり実行委員会)

・市内壁画の調査・修復 委託料：3,176,950 円 (壁画によるまちづくり実行委員会)

○ 効果

取手市民会館に新たな壁画が完成し、「アートのまち取手」の PR につながった。壁画の維持管理・修復を行うことで、落書きや不法張り紙等をなくし、安全で快適な市民生活と芸術が一体化した個性豊かな美しい街並みが形成された。

[担当：文化芸術課] P. 433

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 13,013,772 円 (12,377,038 円)

[その他 4,667,800 円 一財 8,345,972 円]

* 特財内訳

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 4,133,000 円]

[使用料：アートギャラリー使用料 443,000 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 91,800 円]

○ 目的

市民の芸術・文化交流の場であるアートギャラリーを管理・運営し、芸術・文化の振興に寄与する。

○ 内容

(1) ギャラリーの管理運営

とりでアートギャラリーは、取手駅ビル内にあるたいけん美じゅつ場 VIVA の一角に設置している。同施設の開閉、展示補助、市主催事業の受付等を委託により運営した。

・アートギャラリー管理委託料：1,997,979 円（県・市シルバー人材センター）

・施設賃借料：9,685,308 円（株式会社アトレ）

(2) 市主催事業の開催

事業名	開催日	会場	内容	入場者数
にこにこ元気なとりでっ子！作品展	8/6 ～ 8/17	とりでアートギャラリー	市内公立、私立保育所（園）・幼稚園 18 か所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて 4 か所の地域子育て支援センターの取り組みを紹介した。	1,375 人
第 52 回取手市民美術展	10/29 ～ 12/6	とりでアートギャラリー	日本画、洋画、彫刻の部 81 点 写真、書、工芸、デザインの部 84 点（招待作品を含む。） 小中学生の部 1,062 点	6,282 人
松本掃玉百歳展ととりでの書家展	12/11 ～ 12/26	とりでアートギャラリー	部門ごとの市の所蔵品、市内の作家の作品を広く集め、展示する郷土作家部門展の第 1 回となる書部門の展覧会。46 点を展示。	798 人
とりでスクール・アートフェスティバル	1/16 ～ 1/22	取手ウェルネスプラザ、とりでアートギャラリー	市内にある高等学校全 7 校の芸術教育の作品や演奏の発表。	600 人
特別友好都市中国桂林市交流作品展	3/4 ～ 3/9	とりでアートギャラリー	特別友好都市中国桂林市から寄贈された作品を展示した。	166 人

※その他、ギャラリーのあいている期間を利用して、東京芸術大学取手市長賞の作品を展示した。

(3) アートギャラリー貸出し実績

期間	展示名
4/2～4/6	8 展
5/21～5/26	16+α 写真展
6/4～6/9	戸頭油彩会展示会
6/11～6/9	萌黄の会写真展
7/9～7/14	写遊会取手写真展
7/23～7/28	取手松陽高校美術科選抜展

9/25～10/5	芸大 PRIZE2021
10/8～10/13	いばら会
2/4～2/9	無限未来 楽書展
3/11～3/16	中山哲雄 水彩画展「風のガーデン」
3/25～3/30	第13回茨城県南書展

(4) 市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸出しを行った。

利用件数

ギャラリー名	令和3年度	令和2年度
取手駅市民ギャラリー	39件	38件
藤代駅市民ギャラリー	25件	24件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

〔担当：子ども青少年課〕 P.435

3801 放課後児童対策事業に要する経費 143,330,654円(229,670,976円)

〔国・県 69,425,912円 その他 34,772,310円 一財 39,132,432円〕

* 特財内訳

〔国補：子ども・子育て支援交付金 31,924,000円〕

〔国補：放課後児童支援員等処遇改善臨時特例交付金 873,000円〕

〔県補：子ども・子育て支援交付金 32,172,000円〕

〔県補：放課後児童対策事業補助金 4,456,912円〕

〔負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 32,171,250円〕

〔繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,330,000円〕

〔諸収入：雇用保険料本人負担分 271,060円〕

○ 目的

市立小学校に通う全児童を対象とし、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、児童の健全育成を図る。

○ 内容

放課後子ども教室事業と放課後児童クラブ事業を一体的に、平成20年度から「放課後子どもクラブ」として市立小学校に開設。全児童を対象に放課後や夏休み等の長期休業中における安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、遊びや体験活動を通じて児童の健全育成と子育て支援の充実を図った。

令和3年10月より取手東小学校、高井小学校、藤代小学校の放課後子どもクラブの運営を民間事業者へ委託することで、慢性的な支援員不足の解消及び民間事業者が持つノウハウの活用を図った。さらに、土曜日の開所を3クラブに集約することで支援員等負担の軽減と運営の効率化を図る一方、開所時間を拡大することで保護者の就労支援の充実を図った。

・放課後児童支援員報酬 99,020,347円

・放課後子どもクラブ運營業務委託料 30,960,500 円

放課後子どもクラブ登録児童数（通常利用登録者） 令和4年3月31日現在（単位：人）

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	34	35	37	19	19	9	153
白 山 小	36	44	31	19	6	5	141
取手東小	55	48	39	28	29	14	213
寺 原 小	28	32	29	31	13	9	142
永 山 小	32	36	22	23	10	9	132
取手西小	30	22	18	27	17	4	118
戸 頭 小	34	38	34	18	16	4	144
高 井 小	73	62	45	15	8	3	206
山 王 小	6	6	4	10	3	3	32
六 郷 小	8	13	11	8	9	2	51
藤 代 小	41	39	27	23	20	5	155
宮和田小	26	18	36	14	12	6	112
久 賀 小	28	20	22	19	10	4	103
桜が丘小	26	31	20	17	9	4	107
合 計	457	444	375	271	181	81	1,809

放課後子どもクラブ登録児童数（土曜日登録者） 令和4年3月31日現在（単位：人）

	取手東	高井	藤代	合 計
取 手 小	4	1	0	5
白 山 小	2	0	1	3
取手東小	19	0	0	19
寺 原 小	1	2	0	3
永 山 小	0	1	0	1
取手西小	1	3	0	4
戸 頭 小	0	1	0	1
高 井 小	0	18	0	18
山 王 小	0	0	0	0
六 郷 小	2	0	0	2
藤 代 小	0	0	5	5
宮和田小	0	0	4	4
久 賀 小	0	0	9	9
桜が丘小	0	0	11	11
合 計	29	26	30	85

※土曜日は取手東小、高井小、藤代小の3クラブで開所（令和3年10月より）。

○ 効果

放課後子どもクラブの開設により、児童の健全育成と子育て支援の充実を図ることができた。取手東小・高井小・藤代小の3クラブの運営委託及び土曜日開所を同クラブに集約化することで、支援員等の人材不足への対応及び支援員等の負担軽減につながった。さらに、土曜日の開所時間を拡大することで、保護者の就労支援を行うことができた。

[担当：子ども青少年課] P.437

3802 新型コロナウイルス感染症対策経費 4,081,352 円 (31,086,293 円)

[国・県 3,226,000円 一財 855,352円]

* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金（感染症対応分）1,866,000円]

[県補：子ども・子育て支援交付金（感染症対応分）1,360,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することで、放課後子どもクラブの継続的な運営を行う。

○ 内容

放課後子どもクラブ運営における新型コロナウイルス感染症対策として、マスク・消毒液等の衛生用品や物品の購入を行った。

・ 消耗品費（衛生用品等） 2,471,538円

・ 備品購入費 1,518,000円

○ 効果

感染症対策としての消耗品・備品の購入により、放課後子どもクラブ利用者の新型コロナウイルス感染症対策を図ることができた。

[担当：生涯学習課] P.437

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 80,870円（190,373円）

[国・県 53,000円 一財 27,870円]

* 特財内訳

[県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金

80,870円×2/3≒53,000円]

○ 目的

訪問型家庭教育支援事業は、地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことを目的とする。

○ 内容

(1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる情報提供

(2) 実施対象 市内市立小学校14校の小学1年生児童を持つ保護者（666名）と市内市立小学校への転入生（57名）

(3) 実施内容 対象者へ実施希望調査を実施し、希望者に対して電話等での情報提供を行う。

(4) 実施結果 コロナ禍での実施であったが対象人数723名の内、1名から実施希望があり、電話等で情報提供を行った。

○ 効果

コロナ禍のため、例年との実施方法は異なったが、家庭に家庭教育の情報を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：生涯学習課] P.439

0501 公民館事務に要する経費 39,639,138円（37,834,566円）

[その他 6,615,596 円 一財 33,023,542 円]

* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 6,199,020 円]

[手数料：コピー手数料 119,350 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 220,000 円]

[諸収入：印刷機使用料 76,866 円]

[諸収入：電話通話料 360 円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行った。主な経費は公民館の需用費、委託料である。

- ・ 光熱水費 16,919,695 円 (各公民館施設の光熱水費)
- ・ 委託料 15,449,528 円
(各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託、消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託など)
- ・ 備品購入費 651,090 円
(折りたたみチェア台車、書類保管庫、調理室丸椅子、耐火金庫)

○ 効果

公民館の維持管理を適切に行い、利用環境の充実と利用者の利便性を図った。

[担当：生涯学習課] P.441

2101 公民館活動に要する経費 494,349 円 (513,257 円)

[一財 494,349 円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が 14 館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実に努める。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催することで地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

- ・ 報償費 234,701 円 (各公民館講師謝礼等)

対象	事業名	期 間	回数	受講者数 (人)	事業内容及び結果
女性	女 性 学 級	年間	各学級 6～8	1 学級 12 人～35 人 8 学級(166 人)	出会いを大切に視野を広げ、 楽しく学習しながら豊かな 人間性を培い、学級生相互の 交流を深めた。

高齢者	高齢者学級	年間	各学級 4～10	1学級 11人～89人 3学級(127人)	高齢者が心豊かに生きられるように、健康・趣味・体験活動等を通して、社会情勢に必要な物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
成人	夏ゆかた着付け講座	7月	1	9	着付けの初心者を対象に、夏ゆかたの着付けを学んだ。
	ふるさと講座	11月	1	8	郷土に関する歴史の学習を通し郷土愛と交流を深めた。
	プリザーブドフラワーアレンジ講座	12月	1	11	クリスマスの季節に奇麗な「プリザーブドフラワー」を作成した。
	健康教室	10～11月	5	87	高齢者の健康づくりと運動をテーマに講座を実施した。
	しめ飾り作り講座	12月	2	37	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
一般	地域交流会	11月	1	28	地域親睦と健康増進を目的に、ハイキング(ウォーキング)を開催し、地域の交流を深めた。
	ペタンク大会	10月	1	62	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	永山・戸頭地域親善ゲートボール大会	10月	1	26	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善と健康増進と技術の向上を目的に大会を開催した。

・各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	R3	福祉会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	R2		
小文間公民館	R3	1,065	6,995
	R2	795	5,366
永山公民館	R3	2,041	21,062
	R2	1,787	19,163
寺原公民館	R3	1,690	18,724
	R2	1,498	16,188
井野公民館	R3	3,268	51,379
	R2	2,234	29,134
戸頭公民館	R3	3,206	45,201
	R2	2,407	25,495
白山公民館	R3	1,904	24,113
	R2	1,735	21,453
藤代公民館	R3	2,619	46,447

	R2	1,591	16,466
山 王 公 民 館	R3	659	5,743
	R2	544	4,171
六 郷 公 民 館	R3	756	7,237
	R2	561	5,468
相 馬 公 民 館	R3	866	7,701
	R2	684	5,540
相 馬 南 公 民 館	R3	1,123	9,282
	R2	894	8,280
高 須 公 民 館	R3	399	3,490
	R2	244	1,951
久 賀 公 民 館	R3	687	6,019
	R2	511	4,274
計	R3	20,283	253,393
	R2	15,485	162,949

○ 効果

地域の特色を生かした、学級講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、利用者の教養の向上と健康の増進に寄与することができた。

〔担当：生涯学習課〕 P.441

2301 公民館施設整備に要する経費 17,244,507円（7,623,159円）

〔地方債 5,000,000円 その他 6,707,000円 一財 5,537,507円〕

* 特財内訳

〔市債：公民館施設整備事業債 6,686,900円×75%≒5,000,000円〕

〔繰入金：公共施設整備基金繰入金 6,707,000円〕

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行った。

- ・ 修繕料 9,843,328円（各公民館施設の修繕）
- ・ 委託料 671,000円（久賀公民館屋根改修工事実施設計業務委託料）
- ・ 工事請負費 6,686,900円（白山公民館公共下水道接続工事）

○ 効果

白山公民館と働く婦人の家の排水処理について、下水道本管に接続する工事及び既存浄化槽の撤去工事を行い施設の充実と利用環境整備を図った。

また、各公民館の附帯設備等の老朽化に伴う故障や破損等で、使用に支障がある附帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性の維持・向上に寄与した。

〔担当：生涯学習課〕 P.443

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 5,487,900円（15,732,200円）

〔国・県 5,487,000円 一財 900円〕

* 特財内訳

〔国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 5,487,000円〕

○ 目的

新型コロナウイルス感染症予防対策として、公民館施設の快適な環境整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

戸頭公民館会議室及び相馬公民館ロビーの空調機改修工事を実施し、施設整備を行った。

- ・ 工事請負費 5,487,900 円（戸頭公民館会議室空調改修工事、相馬公民館ロビー空調改修工事）

○ 効果

感染症対策のため、戸頭公民館会議室及び相馬公民館ロビーの空調機の改修工事を実施し、利用環境の向上を図った。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.445

2001 図書館管理運営に要する経費 54,690,133 円 (77,027,879 円)

[地方債 28,700,000 円 その他 3,855,000 円 一財 22,135,133 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 30,295,000 円×95%≒28,700,000 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,855,000 円]

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所要の修繕や改修を行った。

事業名	内容	金額(単位:円)
取手図書館ブラインドカーテン 取替修繕工事	キッズスペースでは乳幼児が利用する機会が多く、脱落による危険性が生じていることから、同所ブラインドの取替修繕工事を行った。	880,000
ふじしろ図書館非常用照明器具修繕	経年劣化により非常用照明器具に不具合が生じたことから、利用者の安全確保のため修繕工事を行った。	1,617,000
ふじしろ図書館空調設備改修工事 実施設計業務委託	経年劣化による空調設備の更新が必要なため実施設計を行った。	4,235,000
ふじしろ図書館空調設備改修工事	経年劣化により空調設備を更新するため改修工事を行い、快適な館内環境の維持を図った。 (令和3年度～4年度継続事業)	26,060,000

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、修繕等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全に努めることができた。

[担当：図書館] P. 445

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 820,600円

〈820,600円〉※〈 〉は、うち2年度繰越分

[国・県 〈820,600円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈820,600円〉]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、取手図書館のトイレ・廊下・事務室等の手洗い器12台に自動水栓を取り付ける。

○ 内容

・自動水栓化工事 820,600円

○ 効果

取手図書館の手洗い器の水栓を非接触型の自動水栓に付け替えることで衛生環境を整えることができた。

[担当：図書館] P. 445

2101 図書館活動に要する経費 93,928,573円 (86,885,770円)

[国・県 1,319,000円 その他 3,866,734円 一財 88,742,839円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,319,000円]

[手数料：コピー手数料 72,560円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 3,746,000円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 48,174円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

・学校図書館－市立図書館連携事業（ほんくる）の運用

本の魅力を発信する図書館Webサービス並びに学校図書館と市立図書館とのシステム連携及び図書配送サービスの運用。

図書館システム賃借料（4～3月） 37,363,680円

図書配送業務委託料 7,065,960円

・電子図書館システム使用料 4,399,752円

・学校との連携 学校図書館への支援

学校司書研修会

蔵書点検の指導・実施

図書館システム活用・運用についての指導（随時）

学校訪問おはなし会

放課後子どもクラブ訪問おはなし会（中止）

家庭教育学級への講師派遣

学校へのリサイクル図書配付（1,126冊）

- ・うちどく（家読）
「スマートウェルネスとりでの推進事業」のうち地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。また、図書館作成の「うちどく絵本リスト」を市立小学校1年生に配付した。
- ・子育て支援
ブックスタート事業（24回 509冊配付）
乳幼児・児童向け読み聞かせ
地域子育て支援センター訪問（中止）
こども発達センターおはなし会（中止）
子育て支援センター（4か所）へ配本セットを巡回
おすすめ絵本紹介として、「よもつと」を偶数月に発行・配信
保育所等へのリサイクル図書配付（420冊）
- ・メルマガ配信
- ・中高生向け本の情報紙「ほんバナ」（年3回発行）
- ・図書館まつり 取手図書館（中止） ふじしろ図書館（中止）
- ・特別展示「効き目ほんわか こころのお薬 100冊 2021」（8/1～10/28）
自殺予防週間に合わせ、いのちやこころについて考えるための図書の展示や情報提供を実施した。（総貸出冊数2,763冊）

(2) 登録者数

(単位：人)

年齢別 登録者数	0～ 6歳	7～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60歳 ～	合計
R3	469	4,854	2,669	2,446	2,432	3,726	4,991	6,743	5,185	13,911	47,426
R2	516	4,907	2,751	2,040	2,372	3,439	4,819	6,671	4,758	13,300	45,573
R1	587	4,981	2,849	1,565	2,254	3,138	4,768	6,499	4,298	12,733	43,672
H30	631	4,674	2,369	1,848	2,518	3,514	5,529	6,944	4,393	13,598	46,018
H29	680	4,777	2,324	1,872	2,424	3,345	5,507	6,748	4,188	12,952	44,817

(3) 利用状況

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、8月18日から9月19日まで図書館・公民館図書室を休館・休室とした。休館・休室期間中は、図書館・公民館・ゆうあいプラザ・取手駅前窓口にて予約資料の貸出・返却を受け付けた。

・入館者数

館名	入館者数（単位：人）				
	R3	R2	R1	H30	H29
取手図書館	106,842	100,230	140,085	149,093	152,153
ふじしろ図書館	112,046	105,911	156,734	166,972	167,906
合計	218,888	206,141	296,819	316,065	320,059

・館別貸出者数

館名	貸出者数（単位：人）				
	R3	R2	R1	H30	H29
取手図書館	54,860	50,310	61,607	65,682	67,132
ふじしろ図書館	50,821	45,585	56,228	61,000	63,687
戸頭公民館図書室	25,650	23,813	30,072	32,510	32,441
小文間公民館図書室	325	286	324	208	225

寺原公民館図書室		4,887	4,634	4,596	4,478	4,022
永山公民館図書室		1,433	960	887	962	867
ゆうあいプラザ図書室		3,120	2,658	2,549	2,784	2,627
井野公民館		2,704	2,464	2,010	1,670	1,383
取手駅前窓口		8,418	7,441	7,385	6,743	5,466
山王公民館		124	137	133	98	104
六郷公民館		500	420	271	333	401
相馬南公民館		1,329	870	677	729	535
学校配送	小学校	2,154	2,105	1,510	1,765	1,030
	中学校	476	465	423	468	291
合	計	156,801	142,148	168,672	179,430	180,211

・貸出冊数（個人貸出）

館名	貸出冊数（単位：冊）					
	R3	R2	R1	H30	H29	
取手図書館	201,263	185,547	219,351	231,682	235,419	
ふじしろ図書館	187,053	166,889	200,337	221,087	224,526	
戸頭公民館図書室	80,551	74,126	90,975	98,324	98,180	
小文間公民館図書室	658	575	691	459	479	
寺原公民館図書室	10,476	10,561	10,533	9,976	8,704	
永山公民館図書室	3,877	2,709	2,198	2,665	2,462	
ゆうあいプラザ図書室	8,350	7,110	6,756	7,403	6,605	
井野公民館	5,281	4,971	4,023	3,405	2,575	
取手駅前窓口	16,836	14,917	14,536	13,282	10,914	
山王公民館	207	247	293	159	178	
六郷公民館	937	822	554	595	728	
相馬南公民館	2,788	1,763	1,070	1,148	837	
学校配送	小学校	4,227	5,338	6,385	8,828	3,288
	中学校	781	934	695	891	384
合	計	523,285	476,509	558,397	599,904	595,279

※学校配送は、平成29年10月から開始

・予約（リクエスト）利用状況

予約（リクエスト）件数	予約件数（単位：件）				
	R3	R2	R1	H30	H29
	135,422	126,333	126,737	116,266	103,501

○ 効果

新型コロナウイルス感染症防止のためイベント等中止となった図書館事業があったが、その中で可能な読書環境を整備し、利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。

[担当：図書館] P.447

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 3,739,995円（10,410,900円）

〈3,739,995円〉※〈〉は、うち2年度繰越分

[国・県〈3,738,091円〉 その他〈1,904円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈3,738,091 円〉]

[繰越金：前年度繰越金 〈1,904 円〉]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、外出を控える市民に向けて電子図書館にて電子書籍を提供する。

○ 内容

・電子図書館システム使用料 3,739,995 円

○ 効果

電子書籍を充実させることにより、新型コロナウイルス感染症拡大予防策として、図書館に来館せずに読書をする機会を提供できた。

[担当：図書館] P.447

2201 図書館資料購入に要する経費 28,364,763 円 (33,799,048 円)

[その他 60,989 円 一財 28,303,774 円]

* 特財内訳

[諸収入：図書弁償金 27,682 円]

[諸収入：広告掲載料 33,307 円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

既定の収集方針に基づき図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・令和3年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入数 (冊)	購入金額 (円)	購入種類	購入金額 (円)
取手図書館	4,221	9,312,707	67 誌	649,418
ふじしろ図書館	4,327	8,408,412	75 誌	824,416
戸頭公民館図書室	1,827	3,474,514	25 誌	303,996
合計	10,375	21,195,633	132 種類	1,777,830
館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額 (円)	購入数 (点)	購入金額 (円)
取手図書館	12 紙	411,294	41	79,049
ふじしろ図書館	16 紙	534,023	81	475,075
戸頭公民館図書室	10 紙	293,958	60	51,724
合計	17 種類	1,239,275	182	605,848

※新聞の購入種類は同紙名の夕刊も1紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載

・館別蔵書数 (各年度末日現在)

館名	図書 (単位：冊)				
	R3	R2	R1	H30	H29
取手図書館	138,203	134,967	142,905	140,608	137,933

ふじしろ図書館	144,232	146,845	146,304	143,612	140,143
戸頭公民館図書室	56,837	54,684	52,761	53,877	57,850
小文間公民館図書室	2,268	2,190	2,391	2,376	2,401
寺原公民館図書室	4,650	4,523	4,511	4,489	4,129
永山公民館図書室	4,303	4,179	4,188	4,460	4,713
ゆうあいプラザ図書室	10,761	10,496	10,488	9,779	9,894
合 計	361,254	357,884	363,548	359,201	357,063

館 名	雑誌 (単位：タイトル数)				
	R3	R2	R1	H30	H29
取手図書館	80	86	89	90	90
ふじしろ図書館	81	86	92	94	94
戸頭公民館図書室	26	27	27	29	30
合 計	187	199	208	213	214

館 名	AV (単位：件)				
	R3	R2	R1	H30	H29
取手図書館	861	756	691	548	486
ふじしろ図書館	5,771	5,863	5,682	5,445	5,307
戸頭公民館図書室	227	160	143	115	88
合 計	6,859	6,779	6,516	6,108	5,881

○ 効果

各館の特長を活かしながら利用者のニーズに合わせた蔵書構成を目指し、また、図書館まで足を運ぶことができない子どもや高齢者でも利用しやすい地域の公民館など読書施設の蔵書更新を図った。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：生涯学習課] P.449

2001 文化財保護に要する経費 858,852 円 (520,763 円)

[その他 134,730 円 一財 724,122 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 134,000 円]

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 730 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料であるため、文化財保護法や県・市条例等により文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用に努め、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 776,000 円

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位：円)

指定	指定文化財の名称	日常管理補助金	防災設備保守点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8	【 】は補助率
国	竜禅寺 三仏堂	10,000	223,000 【3/4：県補助事業のため】	
県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	10,000		
	大日山古墳(岡神社)	10,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
	長禅寺 三世堂	10,000	31,000	
	東漸寺 山門・観音堂	10,000	38,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	52,000	【1/2】189,000 [本殿・拝殿蟻害防除事業] 【定額】10,000 [文化財防火デー]
	白山神社 本殿	10,000	38,000	
	中妻貝塚(福永寺)	10,000		【1/2】85,000 [維持管理(草刈り)]
	阿弥陀如来坐像 (金仙寺)	10,000		
	絹本金箔地刺繍釈迦 涅槃図(信楽寺)	10,000		

(千円未満切捨て)

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」において水戸藩第8・9代藩主の直筆の掛軸3点を公開した。

・特別公開

開催日	内容	来場者	備考
11/5~21	水戸藩主直筆掛軸の公開	674人	水戸藩第8代藩主徳川斉脩(なりのぶ)の春蘭の画、同第9代藩主徳川斉昭(なりあき)の書歌を公開

○ 効果

文化財の保存・管理について、管理者の負担軽減を図るため補助金を交付するとともに、維持・修理を計画的に実施することができた。

また、水戸藩主直筆の掛軸を公開することにより、取手市と江戸幕府との密接な関係性や旧取手宿本陣の魅力を改めて伝えることができた。

[担当：生涯学習課] P.449

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 7,596,446円(7,856,894円)

[その他 192,000円 一財 7,404,446円]

* 特財内訳

[諸収入：本陣駐車場使用料 192,000 円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容	備考
R3	週3日 (金・土・日)	142日	2,727人	19.2人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。	【臨時休館】 ・理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言のため ・期間 R3/8/18～R3/9/23
R2	週3日 (金・土・日)	122日	1,676人	13.7人	・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。	【臨時休館】 ・理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言のため ・期間 R2/4/1～R2/5/28 R3/1/18～R3/2/7

・「取手宿を偲ぶ」旧取手宿本陣・小堀の渡しイベント

【期間】令和3年11月5日～11月21日の金・土・日曜日 計9日間

【内容】・主屋土間展示「徳川斉昭・徳川慶喜と旧取手宿本陣」を開催

・水戸藩9代藩主徳川斉昭など水戸藩主直筆の掛け軸の週替わり特別公開

・小堀の渡しと連携したノベルティの無料配布

【来館者】674人(1日平均74.9人)

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	1,680,333円

・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
庭園維持管理委託料	1,254,000円
史跡指定地・駐車場賃借料	3,384,502円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開を行うことで、市民の歴史や文化財に対する関心を高めるとともに、見学者の約6割を占める市外からの訪問者が取手市の魅力を再発見することに寄与することができた。

[担当：生涯学習課] P.451

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 306,900円

〈306,900円〉※〈 〉は、うち2年度繰越分

[国・県〈306,900円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金〈306,900円〉]

○ 目的

旧取手宿本陣染野家住宅の新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの小便器水洗や手洗い水洗を自動化した。

○ 内容

- ・トイレ改修工事請負費 306,900円
- ・内容 男子用小便器水洗スイッチの自動化(2基)
手洗い水栓の自動化(2基)

○ 効果

旧取手宿本陣染野家住宅のトイレの小便器水洗や手洗い水洗の自動化を行い、来館者及び職員の感染対策を図ることができた。

[担当：生涯学習課] P.451

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,486,000円

〈2,486,000円〉※〈 〉は、うち2年度繰越分

[国・県〈2,486,000円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金〈2,486,000円〉]

○ 目的

埋蔵文化財センターの新型コロナウイルス感染症対策として、トイレの洋式化や小便器水洗弁の自動化などを実施した。

○ 内容

- ・トイレ改修工事請負費 2,486,000円
- ・内容
既存和式トイレから洋式トイレ(温水洗浄便座)へ改修(2か所)
既存小便器用洗浄弁自動洗浄化(2か所)
温水洗浄便座設置(6か所)
既存洗面器の自動水洗化(7か所)

○ 効果

埋蔵文化財センターのトイレの洋式化や小便器水洗弁の自動化などを行い、来館者及び職員の感染対策を図ることができた。

[担当：生涯学習課] P.451

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,521,484円(1,375,780円)

[その他 356,215円 一財 1,165,269円]

* 特財内訳

[負担金：発掘調査原因者負担金 332,295 円]

[諸収入：郷土史売却代 23,920 円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1) 市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査（試掘）や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期 間	内 容
新屋敷遺跡-1（戸頭） 個人住宅	4/26・27	遺構、遺物なし
稲向原 I 遺跡（稲） 太陽光発電所	5/10～26	遺構、遺物なし
南中原遺跡（井野台一丁目） 宅地造成	5/13～31	奈良平安時代竪穴建物跡 1 軒・ 時期不明土坑 1 基／土師器片・ 須恵器片 等出土 本調査へ移行
新屋敷遺跡-2（戸頭） 個人住宅	7/26～30	遺構、遺物なし
佃遺跡（寺田） 宅地造成	9/8～13	遺構なし／縄文土器片・石器等 出土
下高井城跡（下高井） 個人住宅	10/25～29	遺構、遺物なし
大渡遺跡（野々井） 戸建住宅	10/25～11/5	遺構なし／縄文土器片 等出土
大鹿城跡（白山一丁目） 埋蔵文化財確認	12/9～24	中世土坑 2 基／土師質土器 等 出土
稲地内（稲） 個人住宅	12/15～24	遺構、遺物なし
市之代古墳群（市之代） 個人住宅	R4/1/13・14	遺構、遺物なし
新屋敷遺跡-3（戸頭） 個人住宅	R4/1/31～2/7	遺構、遺物なし
惣代八幡遺跡（寺田） 宅地造成	R4/2/8～16	遺構、遺物なし
堀尻遺跡（野々井） 個人住宅	R4/3/19	遺構、遺物なし

【主な経費】

- ・市内遺跡確認調査発掘作業委託料 1,039,238 円
- ・機器使用料（バックホウ使用料） 99,000 円

(2) 南中原遺跡発掘調査（事業者（原因者）負担事業）332,295 円

確認・緊急調査により、南中原遺跡の 1 件で奈良平安時代の竪穴建物跡等が確認され

たが、該当地は宅地造成により保存が困難であったため、原因者である事業者の経費負担により、記録保存のための本発掘調査を実施した。

- 【調査内容】・ 竪穴建物跡 1 棟（奈良平安時代）
・ 土坑 1 基（時期不明）

【調査期間】

- ・ 発掘作業 令和3年8月2日～令和3年8月31日
- ・ 整理作業 令和3年9月16日～令和4年3月15日

【調査経費】

項目	金額
発掘調査用消耗品費	2,673 円
発掘作業委託料	296,622 円
埋め戻し用重機賃借料	33,000 円
合 計	332,295 円

○ 効果

令和3年度は、縄文時代から古代までの10遺跡13件を調査した。発掘調査により、重要な市内遺跡の記録保存を実施し、貴重な資料を得ることができた。

【担当：生涯学習課】 P.453

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 6,667,651 円（421,728 円）

[その他 6,000,000 円 一財 667,651 円]

* 特財内訳

[寄附金：教育費寄附金 5,610,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 390,000 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1) 年間来館者数

年 度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
来館者数	3,794 人	1,552 人	3,347 人

・ 緊急事態宣言による休館：令和3年8月18日～9月19日

(2) 展示活動

展 示 名	市制施行50周年・『目で見る取手の歩み』発刊記念企画展「昭和・平成時代の取手」
期 間	R3/10/2～12/12 開館64日
来館者数（1日平均）	1,857 人（29.0 人）
経 費	・ 講師謝礼 50,000 円 ・ 印刷製本費 390,500 円（ポスター、解説図録）
内 容	市制施行後の50年間を中心に、新たに刊行された『目で見る取手の歩み』の記述を元に昭和・平成時代の取手市の歩みを紹介した。 ・ 市民大学共催特別講座

	<p>「徳川斉昭・慶喜・昭武と渋沢栄一」講座</p> <p>▼11/20 第1回「徳川慶喜・昭武と渋沢栄一の物語ー1867年パリ万博と水戸のネットワークー」</p> <p>講師：齊藤洋一氏（大河ドラマ「青天を衝け」時代考証、松戸市戸定歴史館名誉館長）</p> <p>参加者 194人</p> <p>▼12/11 第2回「渋沢栄一と水戸藩ー史実とドラマの間ー」</p> <p>講師：永井博氏（大河ドラマ「青天を衝け」資料提供者、茨城県立歴史館特任研究員）</p> <p>参加者 179人</p>
--	--

(3) 縦型展示ケースの購入

掛け軸や絵図などの縦長の資料について、展示環境や保安条件を確保するため、縦型の展示ケースを購入した。

- ・規格 縦型展示ケース 1台 (W2700×D1200×H2400mm)、専用展示台付き
- ・契約金額 5,610,000円

○ 効果

活動により、市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることができた。

また、展示ケースを購入し、展示設備の充実を図ることにより、郷土資料の保存環境の向上に寄与することができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ振興課] P.457

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 8,914,694円 (8,991,602円)

[一財 8,914,694円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
スポーツ協会	29部	4,836人	新型コロナウイルス感染症拡大により、例年開催しているイベントが中止となる中、常任理事会の開催により次年度からの活動の協議を行い、各部への補助金等の配分により支援を行った。
スポーツ少年団	10連盟 36単位団	指導者 184人 団員 999人	新型コロナウイルス感染症拡大により、例年開催しているイベントが中止となる中、常任委員会の開催により次年度からの活動の協議を行い、指導者への助成金等により支援を行った。

○ 効果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、スポーツ協会及びスポーツ少年団において例年の活動を一部見合わせるがあったが、各部、各団体において感染症対策に

工夫を凝らしながら活動し、市民のスポーツ振興が図られた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ振興課] P.459

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 171,875,007 円
(131,265,589 円)

[その他 38,790,000 円 一財 133,085,007 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 38,790,000 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成 18 年度より、指定管理者による管理を実施している。また、令和 3 年度からは第 4 期目の指定管理者による管理運営を行った。さらに、新型コロナウイルス感染症及び第 1 体育室の工事による休館や利用中止期間分の補填を行った。

・ 指定管理料 125,851,485 円（うち補填分 3,653,000 円）

(1) 利用状況

(単位：人)

施設名	R3	R2	増減
室内プール	110,571	81,108	29,463
遊水プール	0	0	0
第一体育室	30,974	30,851	123
第二体育室	7,884	7,209	675
トレーニング室	37,472	28,750	8,722
柔道場	12,148	9,511	2,637
剣道場	7,704	5,219	2,485
弓道場	10,299	7,255	3,044
健康相談室	473	243	230
スポーツ障害相談室	119	25	94
研修室	11,236	8,486	2,750
会議室	242	65	177
和室	945	553	392
その他	5,030	2,374	2,656
合計	235,097	181,649	53,448

(2) 工事一覧

・ 第 1 体育室床補強工事 42,460,000 円

(3) 補償、補填及び賠償金

・ 第 1 体育室床補強工事に伴う損失補償費 987,791 円

○ 効果

第 1 体育室床損傷に伴い補強工事を実施し、利用者が安全で安心して利用できるようになった。利用者の様々なニーズに応えることにより、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができた。一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和 3 年 8 月から 9 月にかけて休館や開館時間の短縮を行った期間があった。

[担当：スポーツ振興課] P. 459

2003 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,462,000円(14,121,956円)

[国・県 2,462,000円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,462,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大により、休館となった期間（令和3年1月19日から令和3年2月7日）の支援金を指定管理者へ交付する。

○ 内容

国の緊急事態宣言の期間中、施設を休館したことに対する支援金を指定管理者へ交付した。

○ 効果

指定管理者への支援金を交付することで、公の施設の安定的な管理運営に資することができた。

[担当：スポーツ振興課] P. 459

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 41,812,795円(41,915,305円)

[その他 9,261,010円 一財 32,551,785円]

* 特財内訳

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 8,327,490円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 930,000円]

[諸収入：コピー手数料 920円]

[諸収入：印刷機使用料 2,600円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また、憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	R3	R2	増減
アリーナ	23,519人	21,078人	2,441人
レクリエーション室	3,705人	3,216人	489人
多目的グラウンド	4,101人	3,225人	876人
野球場	5,677人	4,855人	822人
テニスコート	10,479人	9,083人	1,396人
広場計（ピクニック広場、クレール広場）	3,531人	3,455人	76人
会議室	180人	121人	59人
合計	51,192人	45,033人	6,159人

(2) 施設維持・管理経費

- ・ 体育館設備保守管理・清掃業務委託料 7,953,000円
- ・ 施設管理業務委託料 3,090,534円

- ・屋外施設管理業務委託料 4,785,000 円
- ・樹木剪定業務委託料 489,500 円

(3) 修繕一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
駐車場区画線修繕	1,034,000 円	R3/6/5～ R3/8/31	第1・2駐車場区画線、停止線、止まれ、誘導矢印の修繕
散水栓用井戸用ゲート改修工事	495,000 円	R3/10/29～ R3/12/15	散水栓タンクに井戸水を送る井戸用弁が破損したため修繕
散水栓バルブ修繕	339,900 円	R4/3/5～ R4/3/25	散水栓バルブが破損したため修繕

○ 効果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年8月から9月にかけて休館や開館時間の短縮を行った期間があったが、施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

[担当：スポーツ振興課] P.461

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 892,100 円

〈892,100 円〉※〈 〉は、うち2年度繰越分

[国・県 〈892,100 円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈892,100 円〉]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策として、手洗い場の自動水栓化を行う。

○ 内容

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防の観点から、菌やウイルスからの感染リスクをより軽減するため、水栓蛇口に直接接触れずに手洗いが可能な自動水栓に改修した。

- ・手洗い場自動水栓化改修工事 892,100 円

(工期：令和3年4月9日～令和3年8月31日)

○ 効果

自動水栓にすることにより、新型コロナウイルス感染症等への対策がなされ、利用者が安全で安心して利用できる施設となった。

[担当：スポーツ振興課] P.463

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 116,050 円

〈116,050 円〉※〈 〉は、うち2年度繰越分

[国・県 〈116,050 円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈116,050 円〉]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策として、手洗い場の自動水栓化を行う。

○ 内容

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防の観点から、菌やウイルスからの感染リスクをより軽減するため、水栓蛇口に直接触れずに手洗いが可能な自動水栓に改修した。

・手洗い場自動水栓化改修工事 116,050 円

(工期：令和3年4月9日～令和3年8月31日)

○ 効果

自動水栓にすることにより、新型コロナウイルス感染症等への対策がなされ、利用者が安全で安心して利用できる施設となった。

[担当：スポーツ振興課] P.463

2402 社会体育施設管理に要する経費（旧取手一中体育施設） 2,482,467 円
(3,742,310 円)

[一財 2,482,467 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場を提供する。

○ 内容

(1) 利用状況

項目	R3	R2	増減
利用団体数	6 団体	6 団体	0
登録人数	179 人	254 人	△75

(2) 施設維持・管理経費

・雨水貯留槽等点検管理業務委託料 385,000 円
 ・樹木剪定草刈清掃等業務委託料 1,100,000 円
 ・修繕料（グラウンドネット・側溝蓋等の修繕） 480,260 円

(3) 工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
体育施設防草シート設置工事	495,000 円	R3/12/11～ R4/3/15	旧取手一中敷地内の草刈予定地に防草シートを設置することによって衛生面や利用者の安全性及び草刈清掃業務委託料の削減を図る。

○ 効果

自動水栓にすることにより、新型コロナウイルス感染症等への対策がなされ、利用者が安全で安心して利用できる施設となった。

[担当：スポーツ振興課] P.465

2403 新型コロナウイルス感染症対策経費 244,200 円
(244,200 円) ※ 〈 〉 は、うち2年度繰越分

[国・県 〈244,200 円〉]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 〈244,200 円〉]

○ 内容

新型コロナウイルス感染症に対する感染予防の観点から、菌やウイルスからの感染リスクをより軽減するため、水栓蛇口に直接触れずに手洗いが可能な自動水栓に改修した。

・手洗い場自動水栓化改修工事 244,200 円

(工期：令和3年4月9日～令和3年8月31日)

○ 効果

施設の点検や維持管理を通し、利用者が安全で安心して利用できる施設とすることができた。

[担当：教育総務課] P.465

2502 新型コロナウイルス感染症対策経費 20,119,000 円

[国・県 20,119,000 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 20,119,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症の感染リスクの低減を図るとともに、避難所としての衛生環境を整えるため、旧小文間小学校及び旧戸頭西小学校のトイレ改修工事を行う。

○ 内容

施設名	内容	金額 (単位：円)
旧小文間小学校	トイレ改修工事实施設計業務委託料	1,441,000
	体育館トイレ改修工事 (全面改修)	10,395,000
旧戸頭西小学校	トイレ改修工事实施設計業務委託料	968,000
	体育館トイレ改修工事 (全面改修)	7,315,000

○ 効果

旧小文間小学校及び旧戸頭西小学校のトイレ改修工事を行うことにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減するとともに、避難所としての衛生環境が整備された。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：保健給食課] P.467

2001 給食センター運営に要する経費 117,884,854 円 (124,949,562 円)

[その他 101,400,047 円 一財 16,484,807 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 750,000 円]

[諸収入：幼稚園給食代 926,271 円]

[諸収入：小学校給食代センター分 63,267,057 円]

[諸収入：中学校給食代センター分 36,456,719 円]

○ 目的

特別活動の学習活動に位置づけられる学校給食にて、安全でおいしい給食を提供する

ことにより、教育の充実を図る。

○ 内容

賄材料費 106,060,296 円

消耗品費 4,846,868 円

○ 効果

適正な施設運営を図る中で、栄養バランスや質・量、安全面・公衆衛生の他、食育を考慮した上での和・洋・中とバラエティに富んだ行事食等の展開と教育の充実に資することができた。

[担当：保健給食課] P.469

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 474,102 円 (2,747,730 円)

[国・県 162,000 円 一財 312,102 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 162,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策のための物品購入の他、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業に伴う、会計年度任用職員への休業補償等の措置を行い、教育活動の維持を図る。

○ 内容

・感染症対策用の手指消毒液等の購入 208,956 円

○ 効果

感染症対策の徹底と臨時休業による補償の措置により、児童生徒の教育活動の維持を円滑に図ることができた。

[担当：保健給食課] P.469

2101 給食センター施設整備に要する経費 125,049,060 円 (39,777,027 円)

〈56,760,000 円〉※〈 〉は、うち2年度繰越分

[国・県 〈18,365,000 円〉 地方債 58,000,000 円 〈38,300,000 円〉

その他 12,748,000 円 〈95,000 円〉 一財 35,936,060 円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈18,365,000 円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 〈2,049,000 円×100%≒2,000,000 円〉]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(54,711,000 円－18,365,000 円)×100%≒36,300,000 円〉]

[市債：学校教育施設等整備事業債 26,318,000 円×75%≒19,700,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,518,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 9,135,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈95,000 円〉]

○ 目的

学校給食センターの給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、当該施設の衛生管理及び設備の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	11,022,345
修繕料	調理機器及び施設修繕料	978,120

(2) 委託料 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	16,870,139
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	385,000
電気保安業務委託料	電気保守点検	231,000
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	汚水・排水処理施設保守点検及び清掃	2,310,000
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラー保守点検及び運転管理	1,650,000
生ごみ収集運搬・リサイクル処理業務委託	給食の生ごみの堆肥化	1,269,565

(3) 工事請負費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
繰越明許費 (調理場空調機改修工事)	施設の老朽化に伴う改修工事	56,760,000
調理機器撤去工事	調理機器の老朽化に伴う機器入替えのための撤去工事	1,243,000
検収室扉改修工事	施設の老朽化に伴う改修工事	1,210,000

(4) 備品購入費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
調理機器等の購入	コンベクションオープン、フライヤー、球根皮むき機等	27,808,000

○ 効果

学校給食センター内の衛生管理及び設備の充実を図ることにより、学校給食を円滑に提供することができた。